

平成30年 台風24号  
大淀川の内水被害に関する検討会  
(第1回)

日時：平成31年1月15日（火）

13時00分～15時00分

場所：宮崎河川国道事務所

1階会議室

議事次第

1. 開会
2. 出席者紹介
3. 挨拶
4. 設立趣旨等
5. 議事
  - (1) 河川整備の状況について
  - (2) 平成30年9月台風24号の出水状況等について
  - (3) 意見交換
  - (4) まとめ
6. 閉会

## 平成30年 台風24号大淀川の内水被害に関する検討会（第1回）

### 【委員】

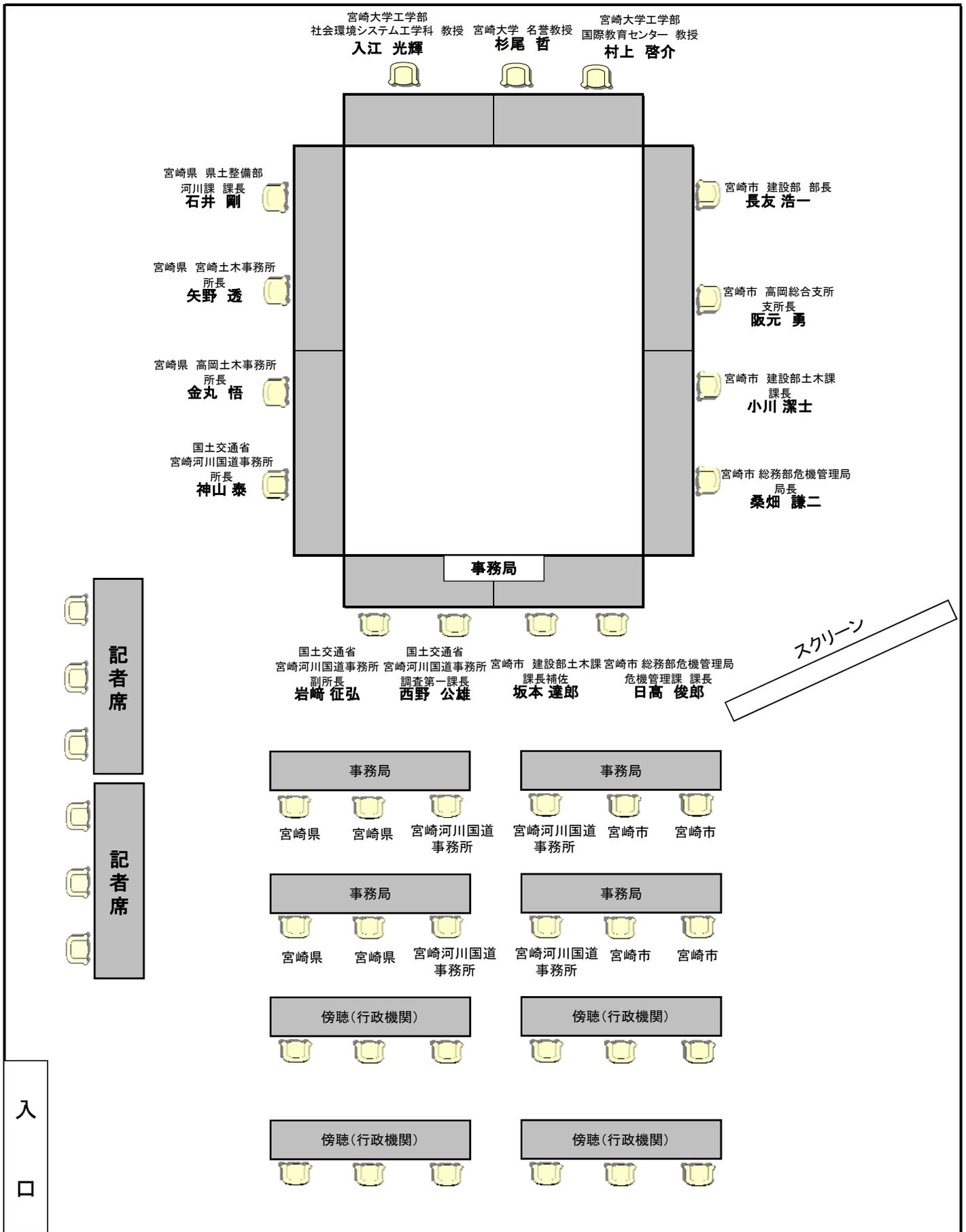
氏名（委員）	所属・役職	備考
杉尾 哲	宮崎大学 名誉教授	
村上 啓介	宮崎大学工学部 国際教育センター 教授	
入江 光輝	宮崎大学 工学部 社会環境システム工学科 教授	
長友 浩一	宮崎市 建設部	部長
阪元 勇	宮崎市 高岡総合支所	支所長
小川 潔士	宮崎市 建設部 土木課	課長
桑畑 謙二	宮崎市 総務部 危機管理局	局長
日高 俊郎	宮崎市 総務部 危機管理局 危機管理課	課長
石井 剛	宮崎県 県土整備部 河川課	課長
矢野 透	宮崎県 宮崎土木事務所	所長
金丸 悟	宮崎県 高岡土木事務所	所長
神山 泰	国土交通省 宮崎河川国道事務所	所長
岩崎 征弘	国土交通省 宮崎河川国道事務所	副所長

※都合によりやむを得ない場合は代理出席可とする。

### 【事務局】

氏名	所属・役職	備考
坂本 達郎	宮崎市 建設部 土木課	課長補佐
毛利 孝	宮崎市 建設部 土木課	河川係長
川元 昭人	宮崎市 高岡総合支所 農林建設課	課長補佐
小牧 利一	宮崎県 県土整備部 河川課	課長補佐
宇治橋 正行	宮崎県 県土整備部 河川課	主幹
西野 公雄	国土交通省 宮崎河川国道事務所 調査第一課	課長
工藤 秀樹	国土交通省 宮崎河川国道事務所 河川管理課	課長

# 平成30年 台風24号大淀川の内水被害に関する検討会（第1回）座席表



平成30年 台風24号  
大淀川の内水被害に関する検討会  
設立趣旨（案）

平成30年9月に発生した台風24号に伴う短時間かつ記録的な降雨により、大淀川支川の瓜生野川、江川、瓜田川、飯田川（以下、「4河川」と記す）沿川において多くの内水被害が発生しました。

宮崎河川国道事務所は、大淀川本川の河川管理者であり、4河川の末端にある水門及び瓜生野川排水機場、江川排水機場、瓜田川排水機場の施設管理者でもあります。

また、宮崎県は4河川の河川管理者であり、飯田川排水機場の施設管理者でもあります。さらに、これらの河川の更に上流の区間や合流する水路等の管理者は宮崎市であり、同時に避難情報を提供する立場にもあります。

このようななか、国、県、市の関係機関が一堂に会し、平成30年9月台風24号による内水被害に関し、その浸水状況や要因等を共有し、専門的な知識を有する学識者から指導・助言を得ながら、家屋の浸水被害軽減に向けた今後の対応について検討していく「平成30年台風24号大淀川の内水被害に関する検討会」を設置するものです。

# 「平成30年 台風24号大淀川の 内水被害に関する検討会」に関する公開方法(案)

## 1. 会議の公開

- (1) 会議は原則公開とする。ただし、会議を公開することにより、円滑な議事運営に著しい支障が認められる場合は公開しないことができる。
- (2) 会議資料、議事概要等は、原則公開するものとするが、特段の理由があるときには、その理由を明示し、会議資料、議事概要等の全部又は一部を非公開とすることができる。

## 2. 議事概要

会議の議事については、事務局が発議者の氏名を伏せた上で議事概要を作成する。

## 3. 公開の方法

会議資料及び議事概要等は宮崎河川国道事務所、宮崎県、宮崎市ホームページでの掲載等によるものとする。

# 平成30年台風24号大淀川の内水被害に関する検討会 流れ(案)

## 第1回

- 検討会立ち上げ(設立趣旨等の説明)
- 出水状況(現時点までの事実確認状況等)
- 意見交換



## 第2回

- 第1回で出された意見に対する回答
- 対応策(案)
- 対応策(案)に対する意見交換



## 第3回

- 対応策(案)の決定

# 河川整備の状況について

平成31年1月15日

# 流域の概要

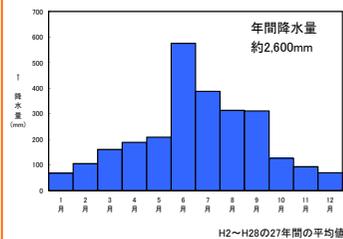
- 大淀川は、宮崎県、鹿児島県、熊本県の3県を流域とする幹川流路延長107km、流域面積2,230km<sup>2</sup>の一級河川である。
- 下流部は、宮崎県の県庁所在地である宮崎市の市街地を貫流し、上流部は宮崎県内で二番目の人口を擁する都城市の市街地を貫流している。
- 国が直轄管理する本川区間は、河口～28.4km、53.8km～78.8kmとなっており、中流部の28.4km～53.8kmの山間狭隘部の区間は宮崎県が管理している。

## 流域及び氾濫域の諸元

流域面積（集水面積）：2,230km<sup>2</sup>  
 幹川流路延長：107km  
 流域内人口：約60万人  
 想定氾濫区域面積：約89km<sup>2</sup>  
 想定氾濫区域内人口：約14万人  
 想定氾濫区域内資産額：約2.5兆円  
 主な市町村：宮崎市、都城市、  
 国富町、綾町 等

## 降雨特性

- 年間降水量は全国平均の約1.6倍となる約2,600mm
- 主要洪水の大半が台風性の降雨



流域平均月別降水量

### 大淀川の洪水要因



大規模出水の洪水要因  
 (柏田地点実績流量(S36～H28)の上位計20洪水)

## 流域図



## 土地利用

- 森林等が69%、田畑等が22%、宅地等が9%
- 宮崎市、都城市に宅地等が集中



## 主な産業

- 農業や畜産業が盛んであり、特産品であるマンゴーや宮崎牛は全国的に有名
- 質の高い原料により生み出される焼酎も日本一の出荷額を誇る



宮崎牛

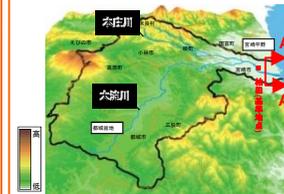


焼酎

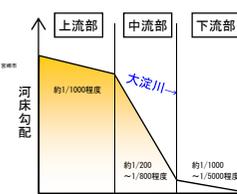
## 地形・地質特性

- 上流は盆地（都城盆地）となっており勾配は1/1000程度
- 中流は山間狭隘部となっており勾配は1/200～1/800程度
- 下流は沖積平野（宮崎平野）となっており勾配は1/1000～1/5000程度、支川本庄川は急峻な山地地形

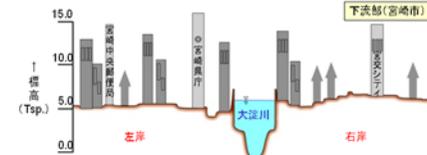
大淀川流域立体イメージ図



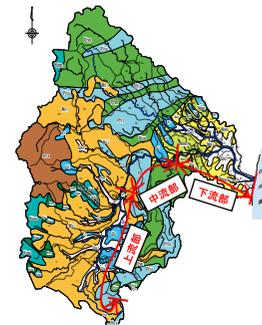
大淀川河床勾配イメージ図



大淀川下流部横断イメージ図(A-A'断面)



- 本川上流域は、灰白色の火山噴火物のシラス層が広く分布
- 流域北部を流れる支川本庄川の流域は、砂岩、頁岩、粘板岩が広く分布



凡 例			
Qa	新生代 第四紀	礫、砂、粘土	
Qb	新生代 第四紀	礫、砂、粘土	
Nm	新生代 第三紀	砂岩、礫岩、砂岩泥岩互層	
Nm	新生代 第三紀	頁岩	
Phs	新生代 第三紀	砂岩、砂岩頁岩互層	
Phs	新生代 第三紀	頁岩、粘板岩	
Phs	中生代 白堊紀	砂岩、砂岩頁岩互層	
Phs	中生代 白堊紀	粘板岩、千枚岩	
Phs	新生代 第四紀	玄武岩、輝石安山岩、角閃石安山岩	
Phs	新生代 第四紀	シラス	
Phs	新生代 第三紀	輝石安山岩、角閃石安山岩、凝灰岩、凝灰岩	

# 主な洪水とこれまでの治水対策

- 昭和2年より直轄改修工事に着手(昭和18年9月洪水を契機に昭和24年に上流改修も追加)。昭和28年に計画高水流量を決定した後、昭和29年洪水を受け昭和39年に全体計画を改定(昭和40年には既定計画を踏襲した工事実施基本計画を策定)。
- 以降の相次ぐ大規模洪水の発生を鑑み、平成15年に河川整備基本方針を策定し流量を改定。その後、観測史上最大となる平成17年9月洪水が発生し激甚災害対策特別緊急事業を採択。当時、平成17年度に策定予定で進めていた河川整備計画は、同事業内容を追加して平成18年3月に策定。

## 主な洪水と治水計画

昭和2年 大淀川下流 本庄川の直轄改修工事に着手  
(計画高水流量) : 5,500m<sup>3</sup>/s (宮崎地点)

昭和18年9月18日～20日洪水 (台風26号)  
柏田地点流量 : 不明 床上浸水 9,361戸

昭和24年 大淀川上流の直轄改修工事に着手  
(計画高水流量) : 3,000m<sup>3</sup>/s (樋渡地点)

昭和28年 全体計画の策定  
(計画高水流量) : 4,000m<sup>3</sup>/s (樋渡地点)  
: 7,000m<sup>3</sup>/s (宮崎地点)

昭和29年9月10日～13日洪水 (台風12号)  
柏田地点流量 : 約7,000m<sup>3</sup>/s 床上浸水 3,173戸、床下浸水 5,303戸  
・線南ダム完成 (昭和33年・宮崎県施工)  
・線北ダム完成 (昭和35年・宮崎県施工)

昭和39年 全体計画の策定  
(基本高水のピーク流量) : 7,500m<sup>3</sup>/s (宮崎地点)  
(計画高水流量) : 7,000m<sup>3</sup>/s (宮崎地点)

昭和40年 工事実施基本計画の策定  
(基本高水のピーク流量) : 7,500m<sup>3</sup>/s (宮崎地点)  
(計画高水流量) : 7,000m<sup>3</sup>/s (宮崎地点)

・岩瀬ダム完成 (昭和42年・宮崎県施工)

昭和57年8月24日～27日洪水 (台風13号)  
柏田地点流量 : 約7,800m<sup>3</sup>/s 床上浸水 264戸、床下浸水 463戸

平成5年7月31日～8月2日洪水 (前線)  
柏田地点流量 : 約7,700m<sup>3</sup>/s 床上浸水 771戸、床下浸水 784戸

平成9年9月14日～16日洪水 (台風19号)  
柏田地点流量 : 約8,000m<sup>3</sup>/s 床上浸水 401戸、床下浸水 584戸

平成15年 河川整備基本方針の策定  
(基本高水のピーク流量) : 9,700m<sup>3</sup>/s (柏田地点)  
(計画高水流量) : 8,700m<sup>3</sup>/s (柏田地点)

平成16年8月29日～30日洪水 (台風16号)  
柏田地点流量 : 約7,300m<sup>3</sup>/s 床上浸水 164戸、床下浸水 203戸

平成17年9月4日～6日洪水 (台風14号) 【観測史上最大】  
柏田地点流量 : 約10,500m<sup>3</sup>/s 床上浸水 3,834戸、床下浸水 872戸

平成17年 大淀川激甚災害対策特別緊急事業を採択

平成18年 河川整備計画の策定  
(河川整備計画の目標流量) : 8,100m<sup>3</sup>/s (柏田地点)  
(河道の配分流量) : 7,200m<sup>3</sup>/s (柏田地点)

平成22年 大淀川激甚災害対策特別緊急事業の完成

平成28年 河川整備基本方針の変更  
(基本高水のピーク流量) : 11,700m<sup>3</sup>/s (柏田地点)  
(計画高水流量) : 9,700m<sup>3</sup>/s (柏田地点)

平成30年 河川整備計画の変更  
(河川整備計画の目標流量) : 10,500m<sup>3</sup>/s (柏田地点)  
(河道の配分流量) : 9,100m<sup>3</sup>/s (柏田地点)

※昭和35年以前の流量は、雨量からの推算値  
※昭和36年以降の流量は、実績流量+ (ダムなし計算流量-ダムあり計算流量)の流量を100m<sup>3</sup>/s単位で切り上げた値  
※被害状況 (出典 : 高水速報等)には、支川等からの氾濫による被害も含まれています。

## 主な洪水

### 昭和29年9月洪水

- ・台風12号の接近によって、宮崎県では11日午後から風雨が次第に強くなり、10日より降り始めた降雨は都城で679mmを記録。各地点の水位は13日早朝に警戒水位に達した。
- ・大淀川では増水のため、小戸橋、高松橋が流出し、堤防の決壊もあり、流域では多大な被害が生じた。

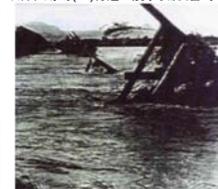


右岸大塚町(6k)付近の浸水状況(宮崎市)

- ・この洪水による被害は、死者5人、負傷者10人、家屋全壊72戸、家屋半壊215戸、床上浸水3173戸、床下浸水5303戸であった。



軒先まで浸水した家(高岡町)



流出した高松橋(大淀川6k付近)(宮崎市)

### 昭和57年8月洪水

- ・台風13号が宮崎市付近を通過し、日向灘を北上したため、県下全域が暴風雨域に入り、25～27日にかけて各地に大雨を降らした。大淀川上流の三股51mm、青井岳45mmの時間雨量を記録し、総雨量も三股642mm、青井岳492mmを記録した。
- ・大淀川上流地区の水位は、26日15時頃から次第に上昇し始め、26日22時には最高水位4.50mを記録した。支川本庄川の嵐田でも、27日4時には最高水位5.24mを記録した。

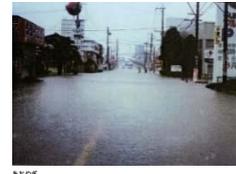


下小松地区(8k付近右岸)の浸水状況

- ・流域では人的被害はなかったものの、家屋半壊18戸、床上浸水264戸、床下浸水463戸に及んだ。

### 平成5年8月洪水

- ・前線の活発化に伴い、九州南部地方では大雨となり、大淀川流域では7月31日1時頃より降り出した雨が断続的に降り続き、1時間に峠下で62mm、青井岳63mm、樋渡69mm降ったのを始め、総雨量でも鼻づ浦の699mmを最高に、樋渡605mm、四家534mm、御池661mm等の降雨を記録した。
- ・今回豪雨による降雨は流域全般にわたり大雨となり、各水位観測所で警戒水位を越す出水となった。
- ・この洪水による被害は死者1人、負傷者2人、家屋の全壊12戸、家屋半壊2戸、床上浸水771戸、床下浸水784戸に及んだ。



青柳川流域 大塚町(大淀川6k付近右岸) 高松橋方向を望む



小松地区(大淀川4k付近左岸)の浸水状況

### 平成9年9月洪水

- ・台風19号の北上に伴い、宮崎県全域が大雨となり、大淀川流域では9月14日1時頃より降り出した雨が断続的に降り続き、16日1時頃より雨は強まり、総雨量では青井岳515mm、榎木469mm、霧島836mm、三股873mmを記録した。
- ・今回の降雨は、大淀川上流域を中心として大雨となり、岳下、高岡、宮崎、嵐田のすべての基準地点で警戒水位を大幅に越す大出水となった。
- ・関係市町村の被害は、死者2人、負傷者3人、家屋の全・半壊25戸、床上浸水401戸、床下浸水は584戸に及んだ。



大塚地区(大淀川6k付近右岸)の浸水状況



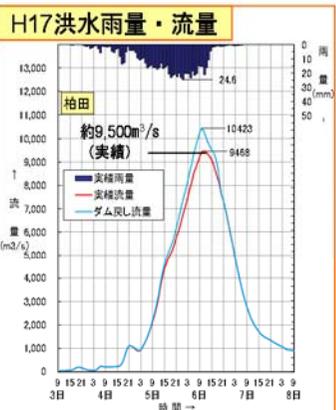
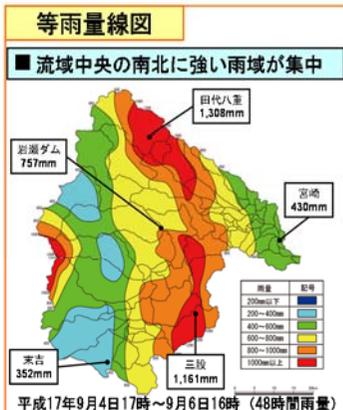
高岡町宮水地区(大淀川18k付近右岸)の浸水状況



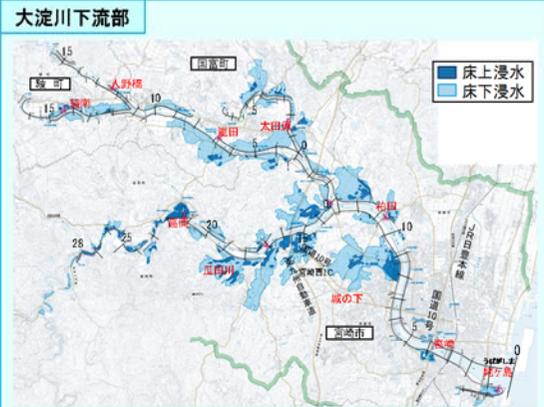
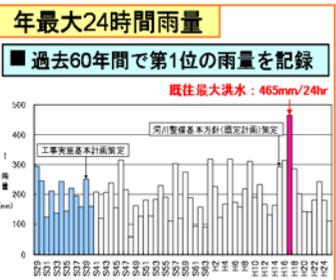
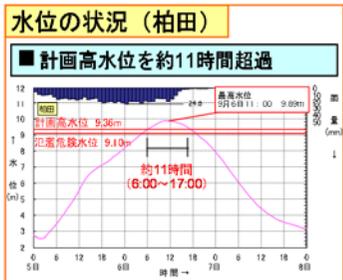
西町地区(大淀川78k付近右岸)の浸水状況

# 平成17年9月出水の概要

- 平成17年9月の台風14号に伴う降雨によって、基準地点柏田上流の流域平均雨量が24時間で約465mm、48時間で約706mmを記録した。
- これにより、基準地点柏田では、観測史上最大流量の約9,500m<sup>3</sup>/sを記録した。ダムによる洪水調節や氾濫が生じなかった場合の同洪水のピーク流量は約10,500m<sup>3</sup>/sとなり、基本高水のピーク流量9,700m<sup>3</sup>/sを大きく上回った。

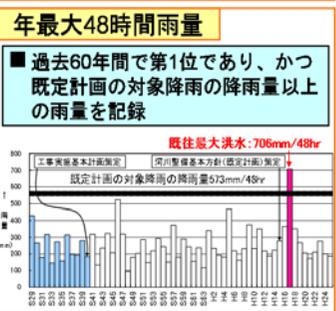
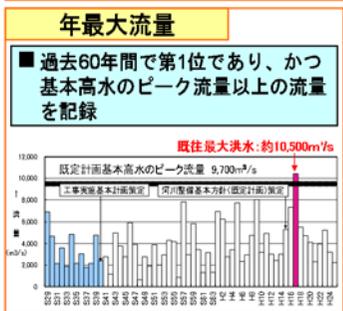


- ### 主な洪水被害
- 下流部を中心として大淀川水系の広範囲において約4,700戸(うち床上浸水は約3,800戸)の浸水被害が発生
  - 宮崎市においては、浄水場や医療機関等が浸水し、地域の社会経済に大きな影響を及ぼした



### 上流地区浸水被害

浸水面積	1,155 ha
浸水戸数	床上 137 戸
	床下 86 戸
	合計 223 戸



### 下流地区浸水被害

浸水面積	2,166 ha
浸水戸数	床上 3,697 戸
	床下 786 戸
	合計 4,483 戸

# 平成17年9月出水対応(激特事業)

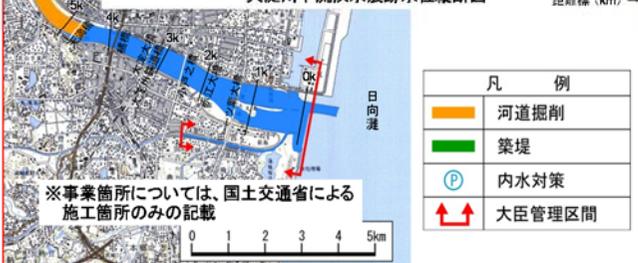
- 平成17年9月洪水を踏まえ、大淀川の下流部および支川本庄川等では、平成17~21年度の5年間で河川激甚災害対策特別緊急事業として、築堤、河道掘削、排水機場等の河川整備を集中的に実施した。
- これにより、宮崎市街部の区間では、基準地点柏田の計画高水流量8,700m<sup>3</sup>/s相当の流下能力を確保したが、平成17年9月洪水と同じ流量が発生した場合には河川水位がHWLを上回る状況にある。

## 大淀川激甚災害対策特別緊急事業の概要



## 河川激甚災害対策特別緊急事業の主な考え方

- (目的)**  
平成17年9月出水と同規模の洪水に対して、外水氾濫及び内水による床上浸水被害の軽減を図る。
- (方針)**
- 外水に対しては、基本方針河道を上限とした河道の整備(築堤・河道掘削)により、最大限の水位低減効果を図る。
  - 内水に対しては、河道の整備により洪水継続時間の短縮を図ると共に、総合的な内水対策(排水機場等)を実施することにより、1/10規模の降雨に対して床上浸水被害の軽減を図る。
- (整備内容)**  
【国土交通省】  
総事業費：232億円、全12地区  
事業内容：河道掘削、築堤、内水対策等



凡 例	
	河道掘削
	築堤
	内水対策
	大臣管理区間

## 排水機場に係る計画の概要

- 内水対策の計画規模をW=1/10とし、計画対象洪水に対して床上浸水被害を防止するポンプ規模を設定。
- 瓜田川に関しては、土地利用状況等を勘案し、輪中堤及び宅地嵩上げを組み合わせる案を採用。

### 排水ポンプ計画規模等一覧

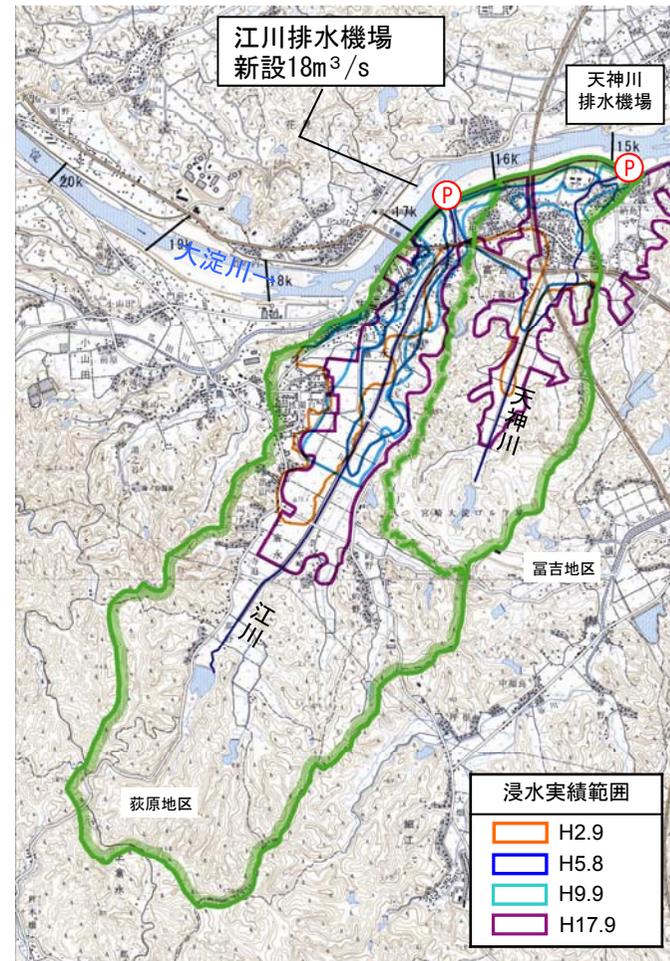
排水 機 場 名	流域 面積 (km <sup>2</sup> )	位 置	市町 村名	自然排水 施設名	計画 規模	計画降雨 継続時間 (hr)	計画 雨量 (mm)	降雨解析 対象期間	ポンプ規模の設定	
									ポンプ 規 模 (m <sup>3</sup> /s)	決定洪水
江 川	7.9	大淀川 16k550 右岸	宮崎市 (旧高岡町)	江川 水門	W=1/10	24	304	昭和29年～ 平成12年 (47ヶ年)	18m <sup>3</sup> /s (9m <sup>3</sup> /s×2台)	H2.9洪水
瓜 生 野 川	10.3	大淀川 11k540 左岸	宮崎市	新溝川 水門	W=1/10	24	295	昭和29年～ 平成17年 (52ヶ年)	16m <sup>3</sup> /s (8m <sup>3</sup> /s×2台)	H9.9洪水
瓜 田 川	11.8	大淀川 17k650	宮崎市 (旧高岡町)	瓜田川 水門	W=1/10	24	314	昭和29～ 平成17年 (52ヶ年)	20m <sup>3</sup> /s (10m <sup>3</sup> /s×2台)	H9.9洪水
飯 田 川	1.0	大淀川 21k200	宮崎市 (旧高岡町)	新飯田川 水門	W=1/10	24	308	昭和34～ 平成17年 (46ヶ年)	5m <sup>3</sup> /s (1m <sup>3</sup> /s×5台) H20:2m <sup>3</sup> /s 増設	H9.9洪水

## 江川排水機場の概要

- 平成2年9月、平成5年9月、平成9年9月等の洪水により浸水被害が発生したため、平成15年度より床上浸水対策特別緊急事業を実施。
- 床上浸水被害の軽減を図るため、江川排水機場を整備。

### 【江川排水機場の概要】

- 事業期間：平成15年度～平成19年度
- ポンプ規模：18m<sup>3</sup>/秒(9m<sup>3</sup>/秒×2台)
- ポンプ形式：立軸斜流ポンプ
- ポンプ口径：φ1,800mm×2台

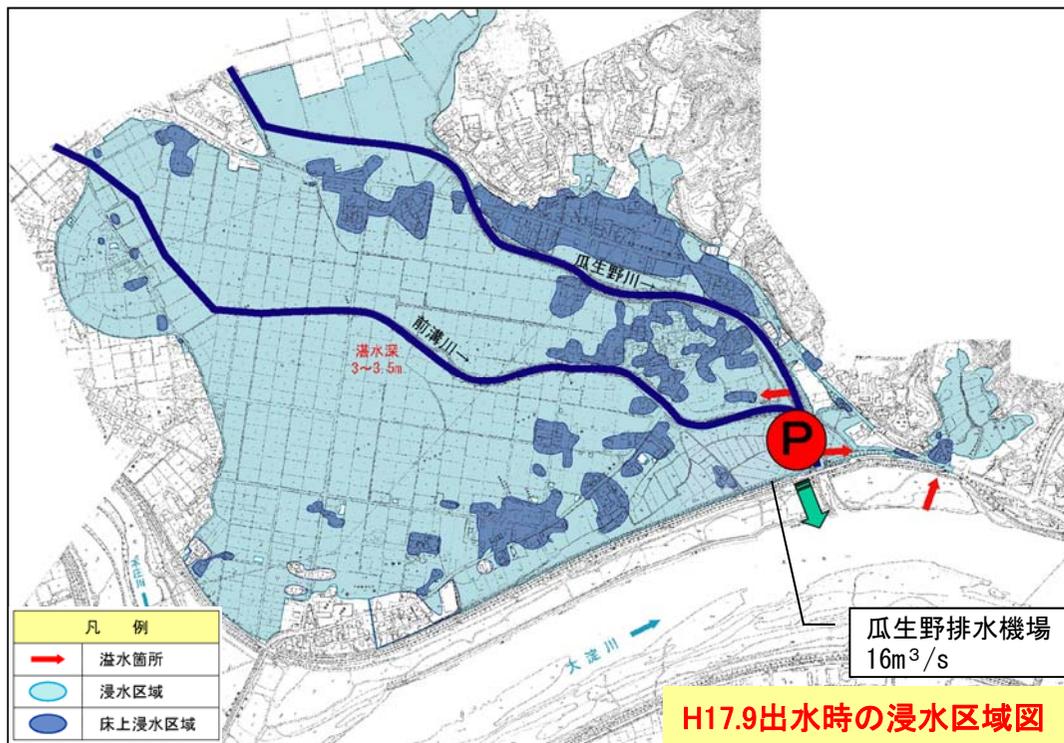


## 瓜生野川排水機場の概要

- 平成17年9月出水で多大な被害が発生したことをうけ、平成17年度より河川激甚災害対策特別緊急事業を実施。
- 床上浸水被害の軽減を図るため、瓜生野川排水機場を整備。

### 【瓜生野川排水機場の概要】

- 事業期間：平成17年度～平成21年度
- ポンプ規模：16m<sup>3</sup>/秒(8m<sup>3</sup>/秒×2台)
- ポンプ形式：立軸斜流ポンプ
- ポンプ口径：φ1,600mm×2台

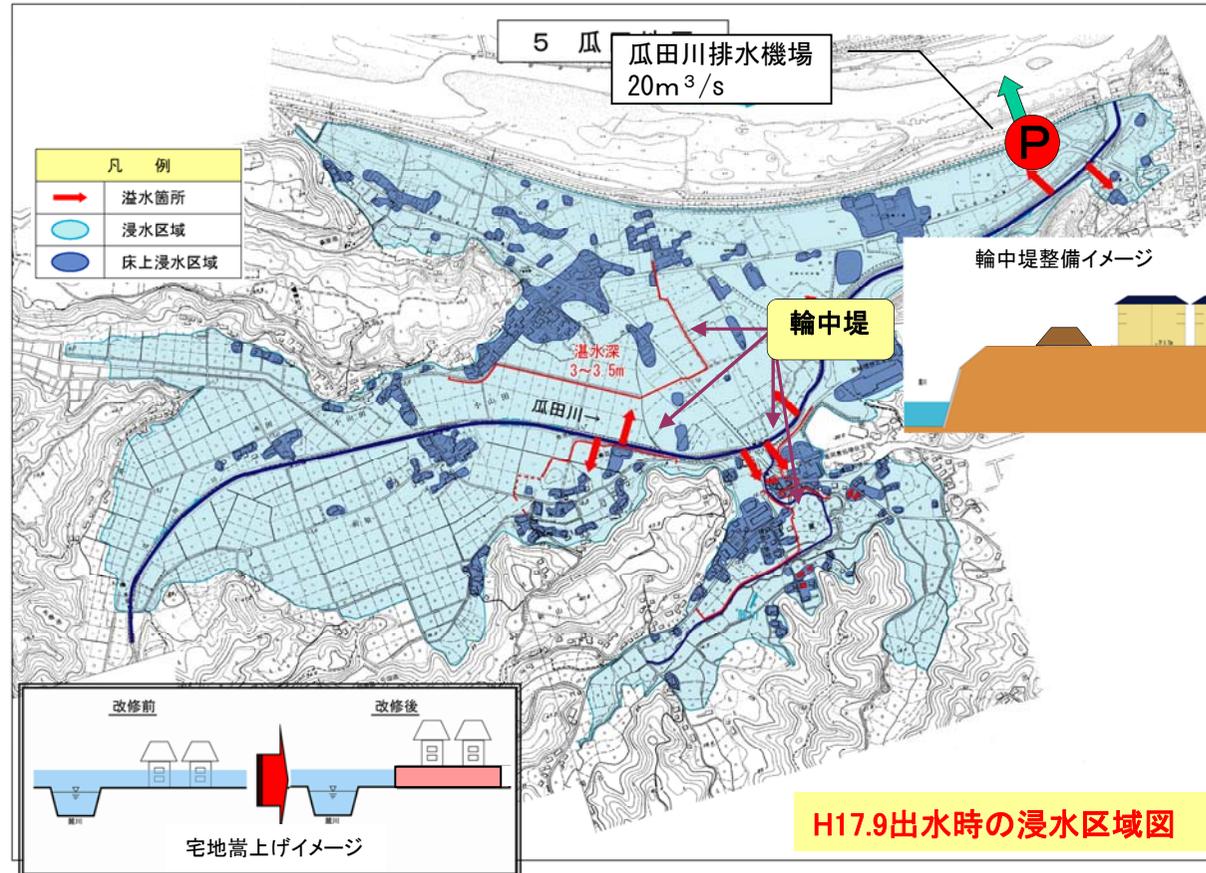


# 瓜田川排水機場の概要

- 平成17年9月出水で多大な被害が発生したことをうけ、平成17年度より河川激甚災害対策特別緊急事業を実施。
- 床上浸水被害の軽減を図るため、瓜田川排水機場及び宮崎県による河川改修(輪中堤等)を実施。

## 【瓜田川排水機場の概要】

- 事業期間:平成17年度～平成22年度
- ポンプ規模:20m<sup>3</sup>/秒(10m<sup>3</sup>/秒×2台)
- ポンプ形式:立軸斜流ポンプ
- ポンプ口径:φ1,800mm×2台

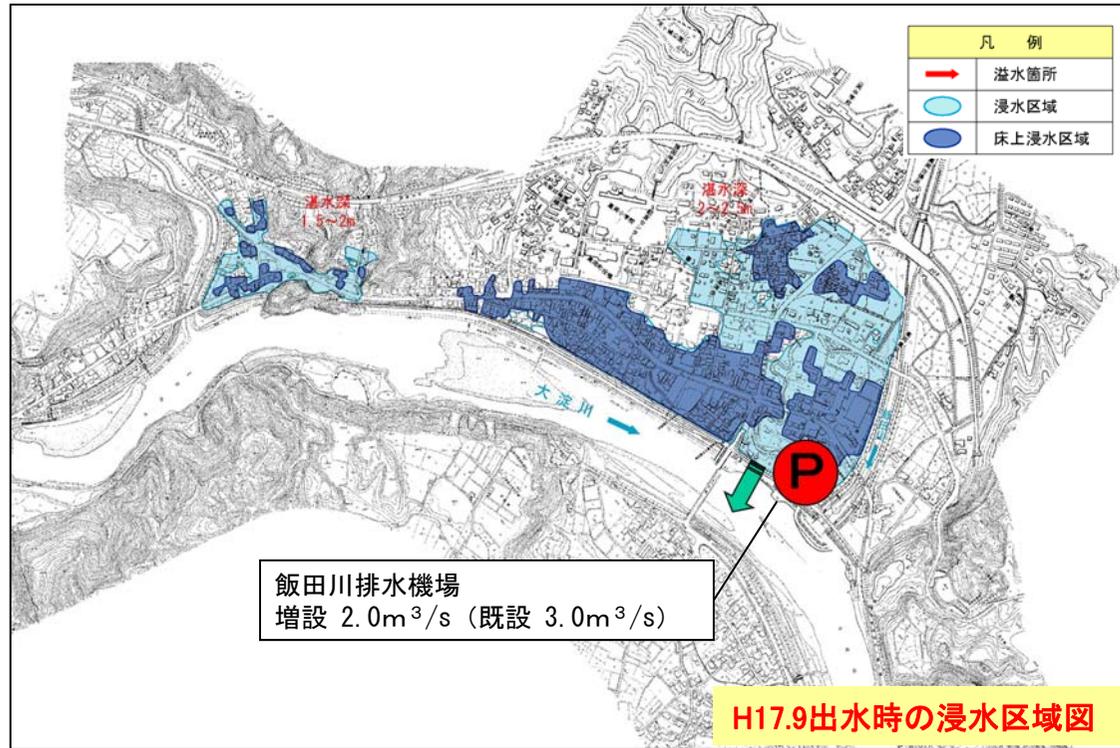
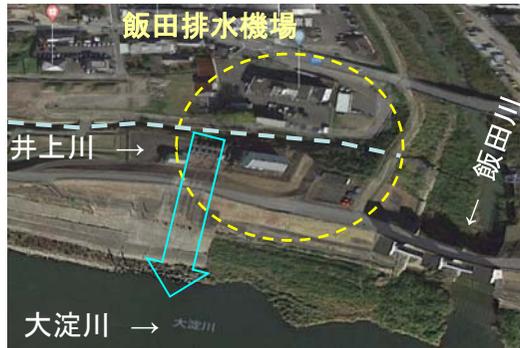


## 飯田川排水機場の概要

- 内水常襲地区であったことから、平成元年に救急内水対策事業に着手し、平成5年度に飯田排水機場(ポンプ3m<sup>3</sup>/s)が完成。
- 平成17年9月出水で多大な被害が発生したことをうけ、平成17年度より河川激甚災害対策特別緊急事業で、ポンプ2m<sup>3</sup>/sを増設。

### 【飯田排水機場の概要】

- 事業期間: 救急事業(平成元年度～平成5年度)  
激特事業(平成17年度～平成19年度)
- ポンプ規模: 5m<sup>3</sup>/秒(1m<sup>3</sup>/秒×5台)  
激特事業で2m<sup>3</sup>/秒増設(2台)
- ポンプ形式: コラム型着脱式立軸斜流水中ポンプ
- ポンプ口径: φ700mm×5台



# 大淀川支川 河川整備状況(瓜田川・江川)



## 大淀川支川 河川整備状況(飯田川・瓜生野川)

(飯田川)



(瓜生野川)



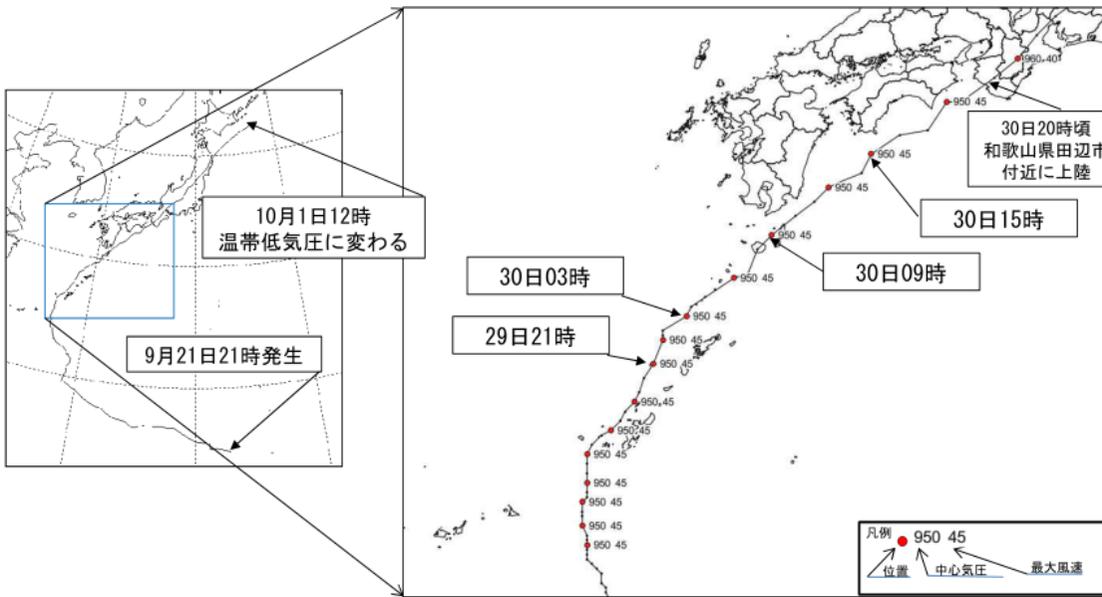
# 平成30年9月台風24号の出水状況について 【出水概要】

平成31年1月15日

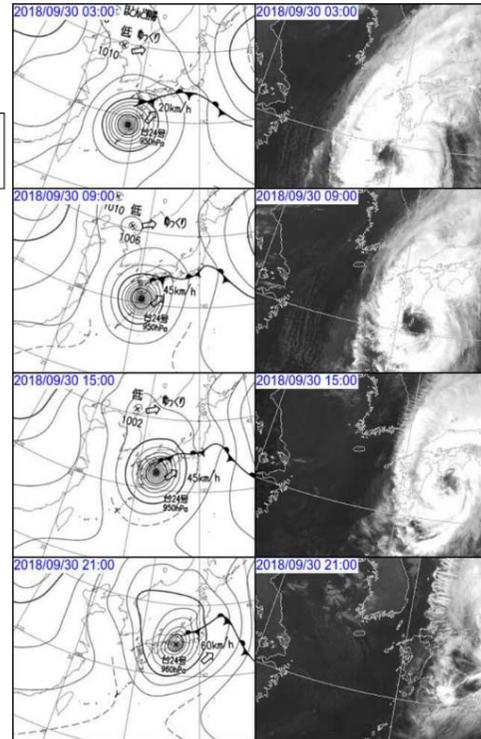
# 1. 台風24号の概要

9月21日にマリアナ諸島近海で発生した台風第24号は、発達しながらフィリピンの東を西北西へ進み、29日には、大型で非常に強い勢力で宮古島の東海上を通過して東シナ海へ進みました。その後、勢力を維持しながら30日未明には奄美大島の西を北北東に進み、進路を北東に変えて30日08時頃に屋久島付近を通過し、30日20時頃に和歌山県田辺市付近に上陸しました。台風の接近に伴い、九州・山口県は30日を中心に大荒れの天気となり、特に九州の太平洋側の地域を中心に温かく湿った空気が長時間流れ込み地形の影響も加わり大雨となり、30日11時16分に記録的短時間大雨情報が発表されました。また、宮崎県では、29日08時頃から30日17時頃にかけて、暴風域に入りました。

台風経路図

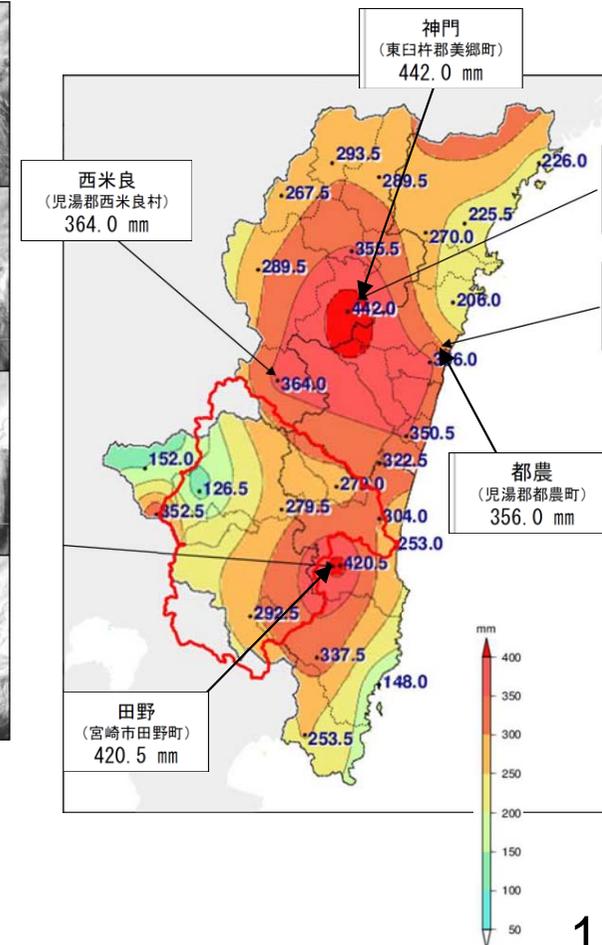


天気図



気象衛星画像

アメダス総降水量の分布図  
(9月28日~30日)



記録的短時間大雨情報の発表状況 (9月30日)

発表日時	情報名及び番号	形式
9月30日 11時16分	宮崎県記録的短時間大雨情報 第1号	文章形式

※出典：災害時気象資料（平成30年10月2日 宮崎地方气象台）

※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

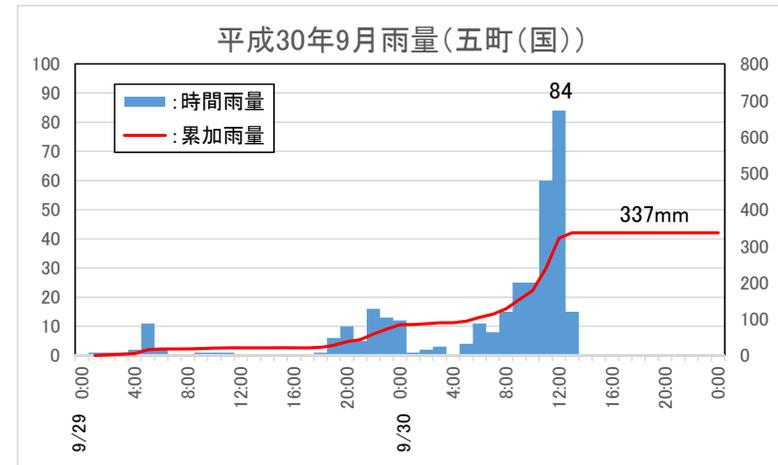
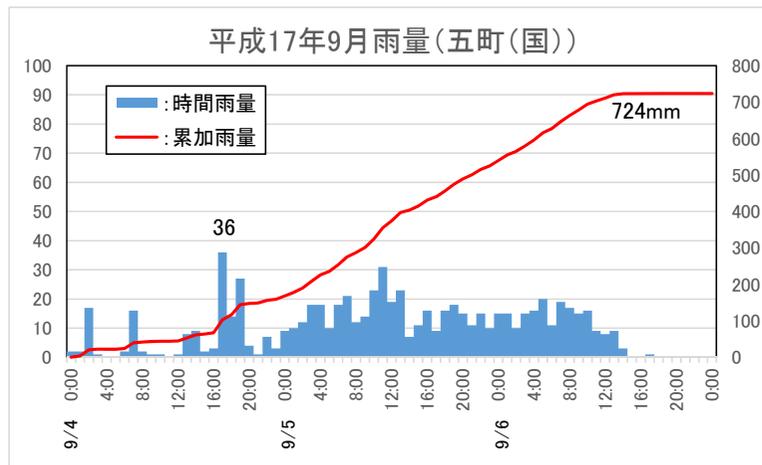
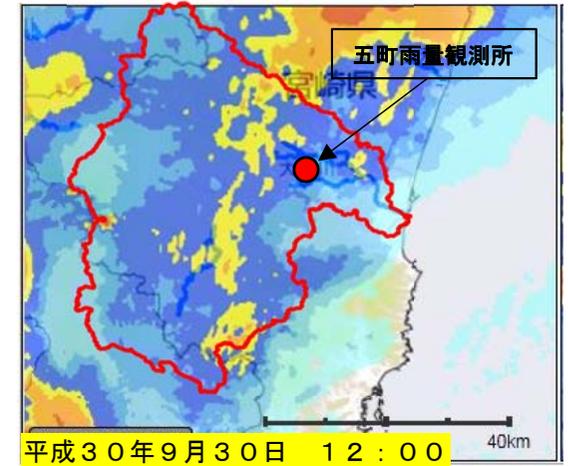
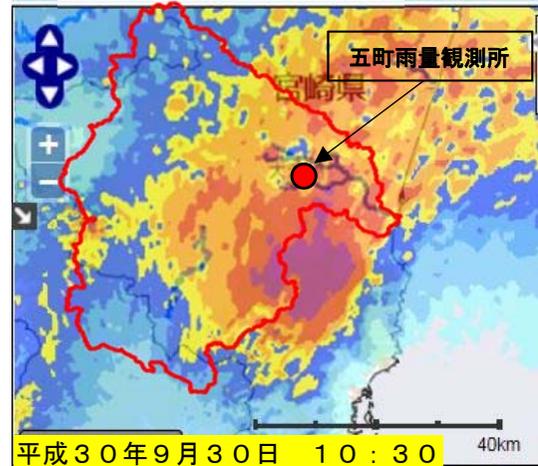
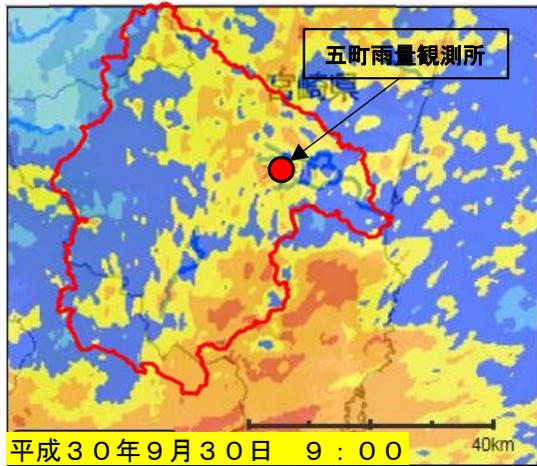
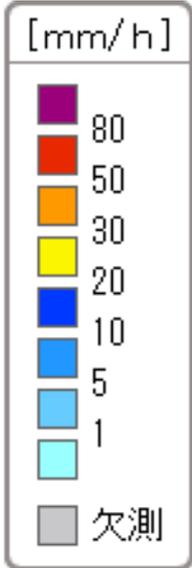
## 2. 降雨の概要①（レーダ雨量）

台風24号の北上に伴い、9月29日の夜から9月30日の昼にかけて九州南部の鹿児島県から宮崎県にかけて強い雨域がかかり、1～3時間の短時間に記録的な雨量を観測しました。

宮崎河川国道事務所管内では、平成17年9月出水時の時と比べると、五町雨量観測所（高岡市街部）の累加雨量（H17.9時724mm）は、約半分程度の337mmでした。一方、3時間雨量は169mmを記録し、平成17年9月の降雨量3時間77mmを越える雨量を記録しました。

その影響により河川水位が上昇し、大淀川岳下、本庄川嵐田、深年川太田原水位観測所では「はん濫危険水位」を越えました。特に、深年川太田原水位観測所では観測史上第2位を記録しました。

### 雨量レーダ



※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。



### 3. 河川水位の概要①

台風24号の影響に伴い、河川水位が上昇し、大淀川岳下、本庄川嵐田、深年川太田原水位観測所では「氾濫危険水位」を越えました。

#### 主な水位観測所の最高水位（速報値）

水系名	河川名	観測所名	位置 (河口又は合流点からの距離: km)		今回最高水位			水防団 待機水位 (m)	氾濫 注意水位 (m)	避難判断 水位 (m)	氾濫 危険水位 (m)	計 画 高水位 (m)	既往最高水位	
					日	時	水位(m)						水位(m)	年月日
大淀川	大淀川	岳下	都城市都島町	(77.60)	9/30	11:50	5.04	3.20	3.70	4.10	4.80	6.58	5.28	H9.9.16
	大淀川	樋渡	都城市高崎町繩瀬	(55.04)	9/30	14:10	8.70	5.40	6.00	8.30	9.20	10.10	10.65	H17.9.6
	大淀川	高岡	宮崎市高岡町五町	(21.55)	9/30	14:00	7.21	5.40	5.80	7.60	8.10	9.38	9.01	H17.9.6
	大淀川	柏田	宮崎市大字瓜生野字柏田	(10.68)	9/30	15:40	7.87	5.30	5.70	8.50	9.10	9.36	9.89	H17.9.6
	本庄川	嵐田	国富町大字本庄字下本庄	(6.95)	9/30	14:00	5.31	3.90	4.30	4.80	5.20	7.16	6.55	H17.9.6
	綾北川	入野橋	綾町入野	(12.45)	9/30	13:00	2.69	2.00	2.20	2.80	3.10	4.83	3.84	S46.8.5
	深年川	太田原	国富町太田原	(1.40)	9/30	14:10	7.57	5.00	5.60	6.40	7.50	8.24	9.04	H17.9.6

◎水位危険度レベル

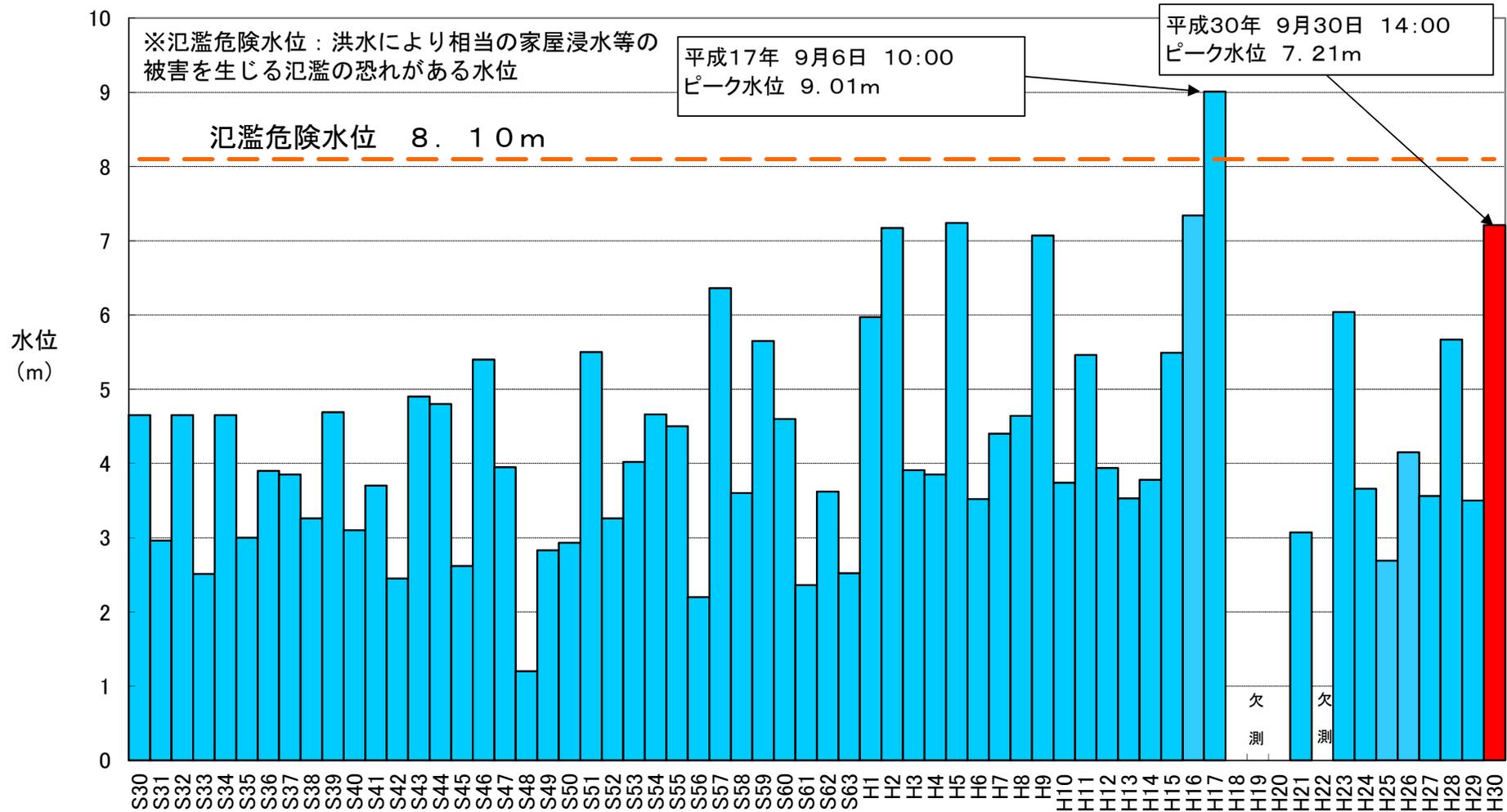
水防団待機水位	レベル1	水防団が水防活動を行うために待機する水位です。
氾濫注意水位	レベル2	避難行動の準備を行う目安となる水位です。
避難判断水位	レベル3	避難行動を行う目安となる水位です。
氾濫危険水位	レベル4	氾濫危険水位を越えると、氾濫の恐れがあります。
氾濫の発生	レベル5	堤防の決壊などにより、氾濫した時点でレベル5となります。

計画高水位を超過：0箇所  
 氾濫危険水位を超過：3箇所  
 避難判断水位を超過：1箇所  
 氾濫注意水位を超過：3箇所

### 3. 河川水位の概要②（大淀川水系大淀川）

大淀川水系大淀川の高岡(たかおか)水位観測所において、9月30日14時00分に観測史上4位(7.21m)を記録しました。

大淀川（高岡水位観測所）における年最高水位比較図

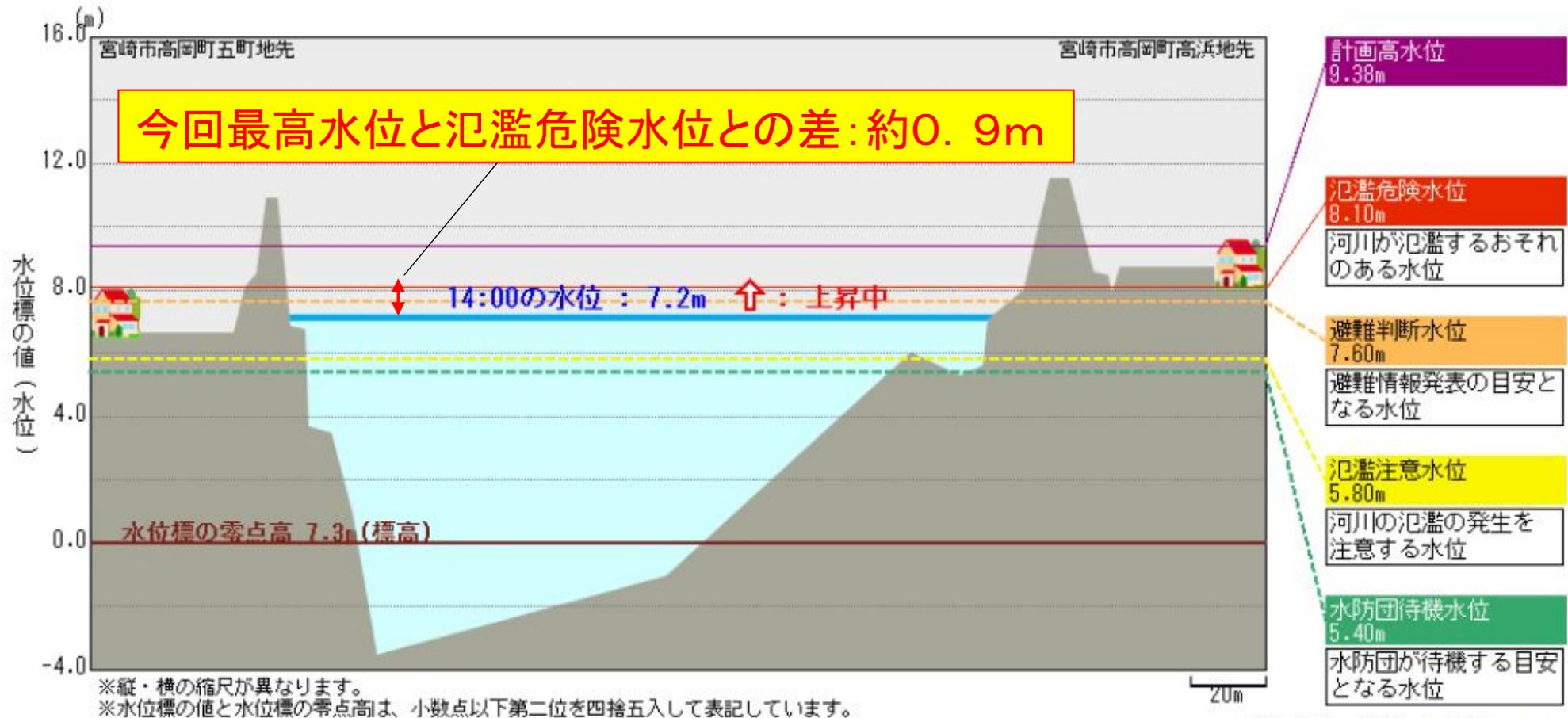


※観測データが得られなかった場合又は観測データが異常値と判定された場合であって、正常値とみなせる数値の推定が出来ない場合、「欠測」としている。  
 ※高岡水位観測所 所在地：大淀川21.55km地点（宮崎県宮崎市高岡町五町） 零点高：T.P. 7.30m

### 3. 河川水位の概要③（大淀川水系大淀川）

#### 台風24号 高岡水位観測所の水位(ピーク水位) (平成30年9月30日 14:00時点)

水系名	河川名	管理区分	所管	洪水/周知/水防	位置	所在地	水位標の零点高	H-Q年度	雨量観測所
大淀川	大淀川	国河川	宮崎河川国道事務所	○/-/○	左岸21.58km	宮崎県宮崎市高岡町五町 (大丸橋上流約150m)	T.P.7.3m (標高7.3m)	H21	五町 テシ地点

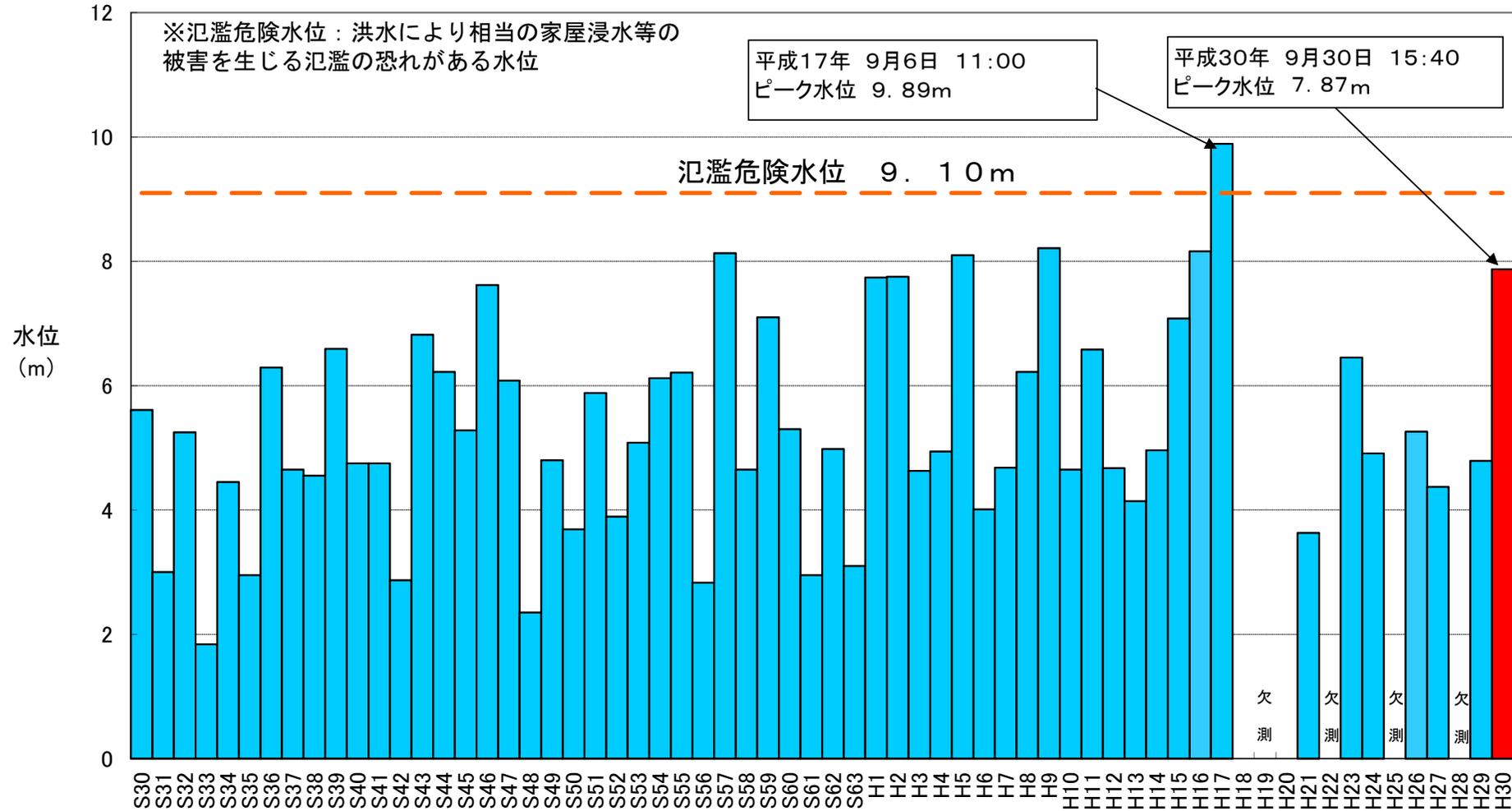


河川の洪水予報と水位の関係について  
国土交通省 河川管理者向け  
統一河川情報システム

### 3. 河川水位の概要④（大淀川水系大淀川）

大淀川水系大淀川の柏田(かしわだ)水位観測所において、9月30日15時40分に観測史上9位(7.87m)を記録しました。

大淀川（柏田水位観測所）における年最高水位比較図

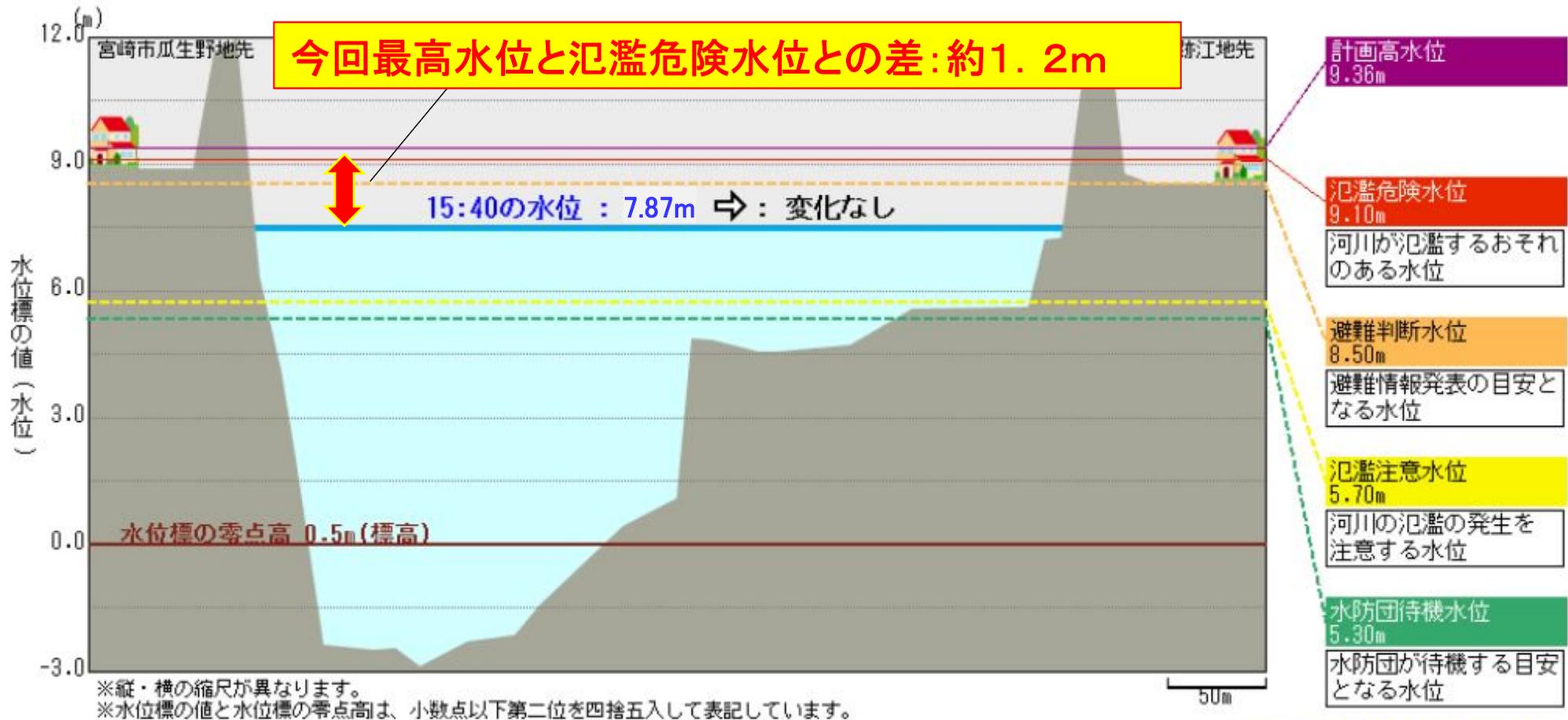


※観測データが得られなかった場合又は観測データが異常値と判定された場合であって、正常値とみなせる数値の推定が出来ない場合、「欠測」としている。  
 ※柏田水位観測所 所在地：大淀川10.68km地点（宮崎県宮崎市大字瓜生野字柏田） 零点高：T.P. 0.50m

### 3. 河川水位の概要④（大淀川水系大淀川）

#### 台風24号 柏田水位観測所の水位(ピーク水位) (平成30年9月30日 15:40時点)

水系名	河川名	管理区分	所管	洪水/周知/水防	位置	所在地	水位標の零点高	H-Q年度	雨量観測所
大淀川	大淀川	国河川	宮崎河川国道事務所	○/-/○	左岸10.68km	宮崎県宮崎市大字瓜生野字柏田 (相生橋下流約500m)	T.P.0.5m (標高 0.5m)	H21	五町 テリ地点



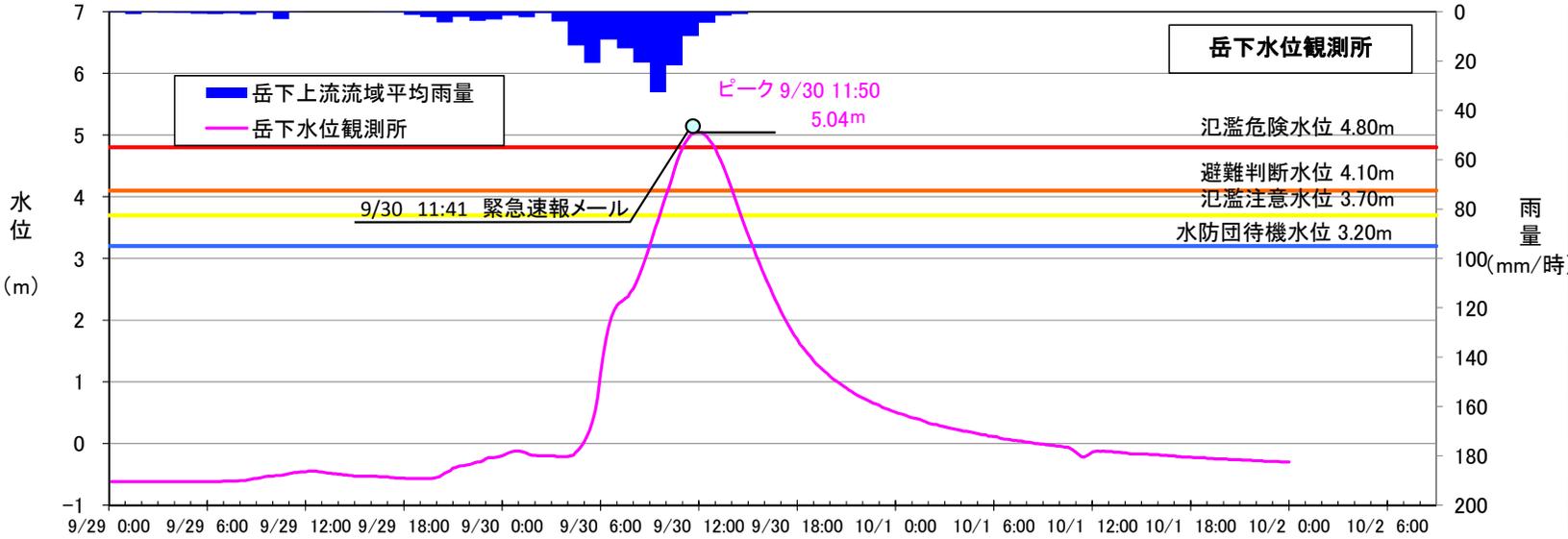
河川の洪水予報と水位の関係について  
国土交通省 河川管理者向け  
統一河川情報システム

※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。



## 4. 防災情報の伝達に関する状況②（緊急速報メール）

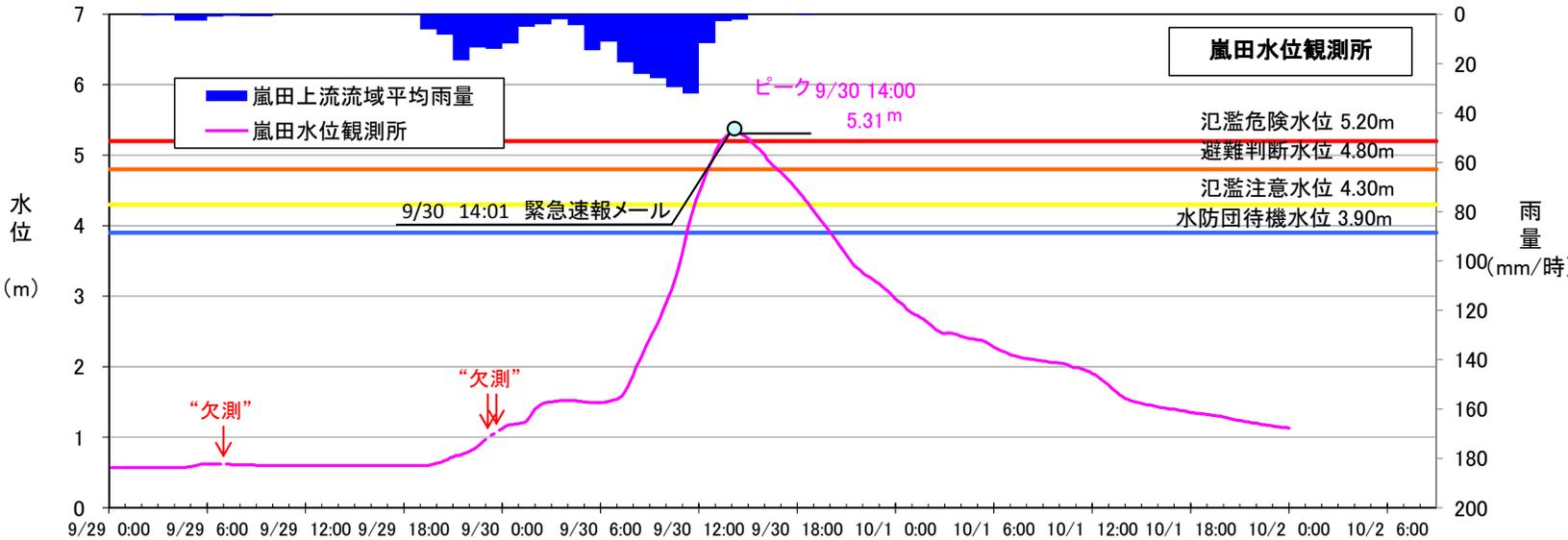
大淀川水系岳下、嵐田水位観測所において、氾濫危険水位を超過したため、宮崎河川国道事務所においてはじめて緊急速報メールを配信しました。



⚠ 緊急速報

**緊急速報**  
河川氾濫のおそれ  
大淀川の岳下（都城市）付近で水位が上昇し、避難勧告等の目安となる「氾濫危険水位」に到達しました。堤防が壊れるなどにより浸水のおそれがあります。  
防災無線、テレビ等で自治体の情報を確認し、各自安全確保を図るなど適切な防災行動をとってください。  
本通知は、九州地方整備局より浸水のおそれのある市町村に配信しており、対象地域周辺においても受信する場合があります。  
(国土交通省)

(メール配信先)  
都城市



緊急速報メール

⏪ メール 1 ⏩

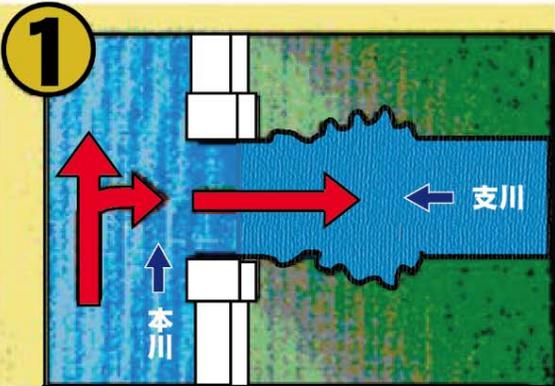
河川氾濫のおそれ  
🕒 2018/09/30 14:01  
本庄川の嵐田（国富町）付近で水位が上昇し、避難勧告等の目安となる「氾濫危険水位」に到達しました。堤防が壊れるなどにより浸水のおそれがあります。  
防災無線、テレビ等で自治体の情報を確認し、各自安全確保を図るなど適切な防災行動をとってください。  
本通知は、九州地方整備局より浸水のおそれのある市町村に配信しており、対象地域周辺においても受信する場合があります。  
(国土交通省)

(メール配信先)  
宮崎市、国富町、綾町

※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

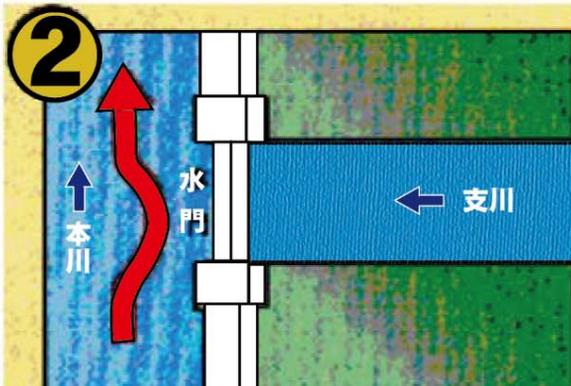
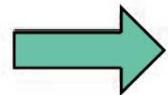
# 平成30年9月台風24号の出水状況について 【施設操作の状況】

平成31年1月15日



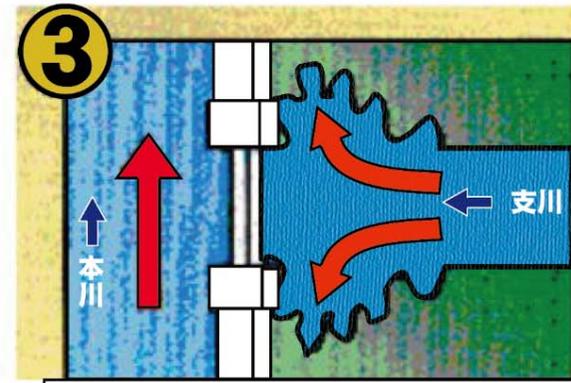
洪水の時、水門がないと大淀川の水が逆流してしまいます。

(本川水位 > 支川水位)



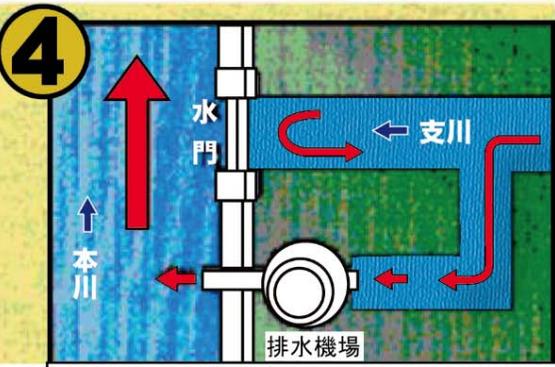
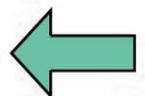
大淀川からの逆流を防ぐため、水門を閉じます。

(本川水位 > 支川水位)



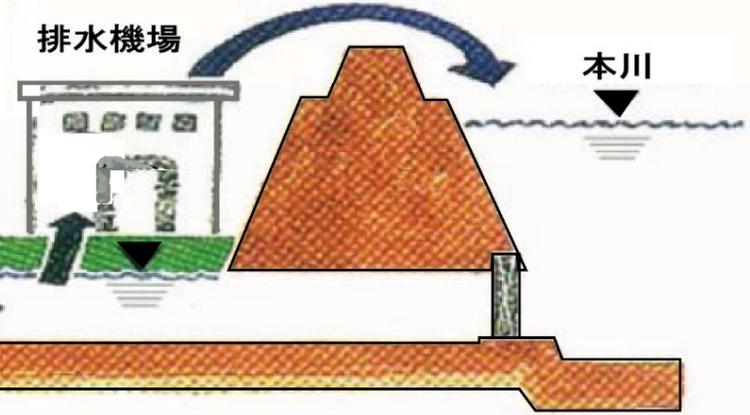
大洪水の場合、水門を閉める時間が長くなり、支川の水が行き場を失い、あふれてしまいます。

(本川水位 > 支川水位)



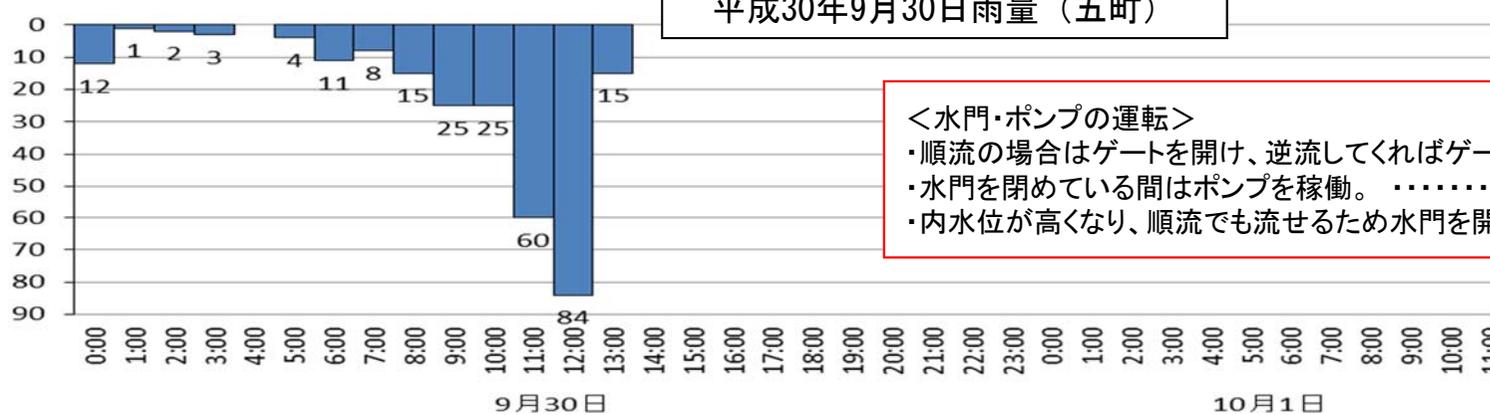
そのため、排水機場は、ポンプで支川の水を強制的に排出します。

(本川水位 > 支川水位)



# 瓜生野川排水機場稼働状況(大淀川左岸11K540)

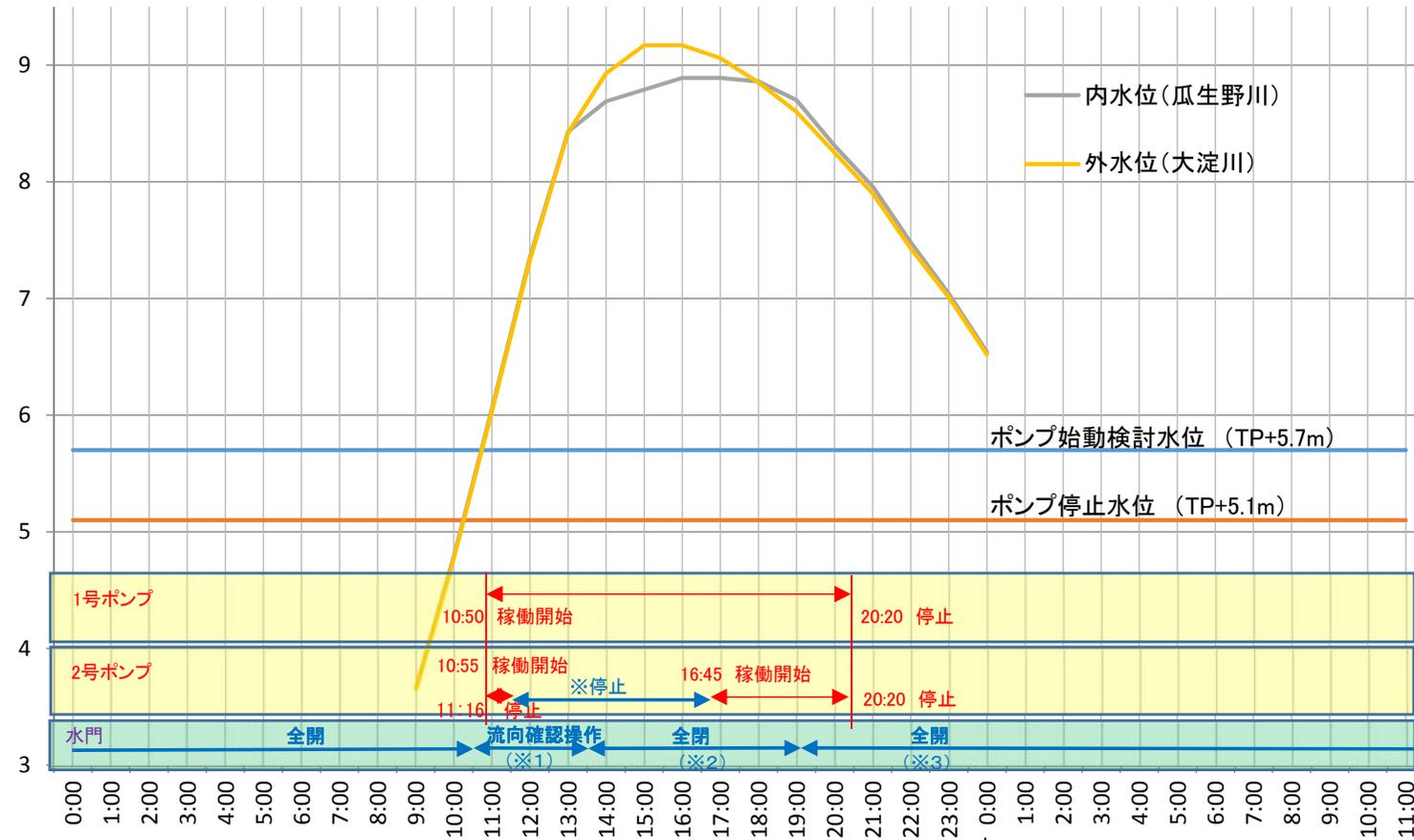
時間  
雨量  
(mm)



＜水門・ポンプの運転＞

- ・順流の場合はゲートを開け、逆流してくればゲートを閉める。 ..... ※1
- ・水門を閉めている間はポンプを稼働。 ..... ※2
- ・内水位が高くなり、順流でも流せるため水門を開けた。 ..... ※3

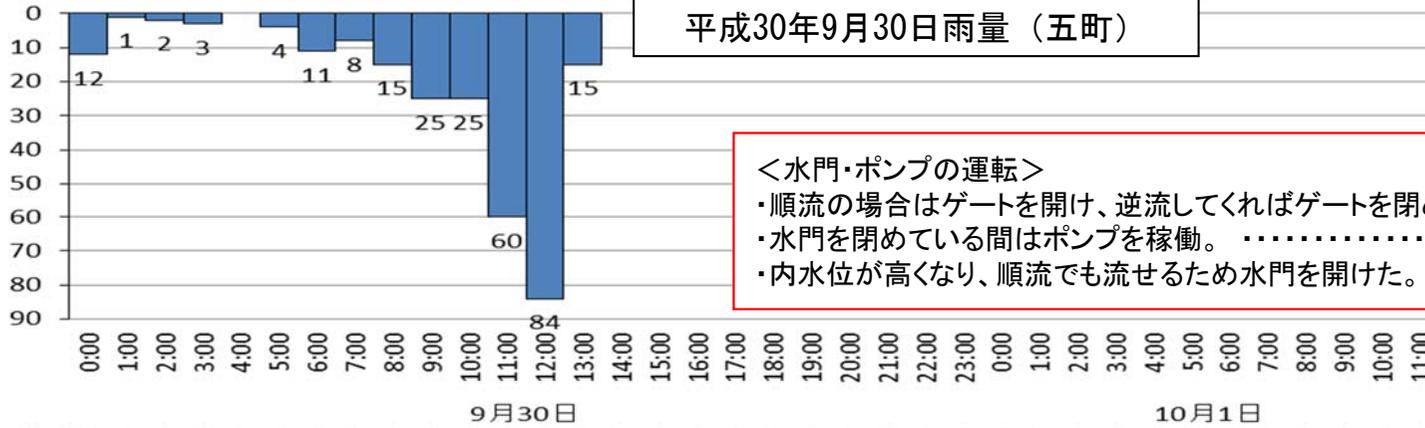
ポンプ排水量  
16m<sup>3</sup>/s  
(8m<sup>3</sup>/s × 2)



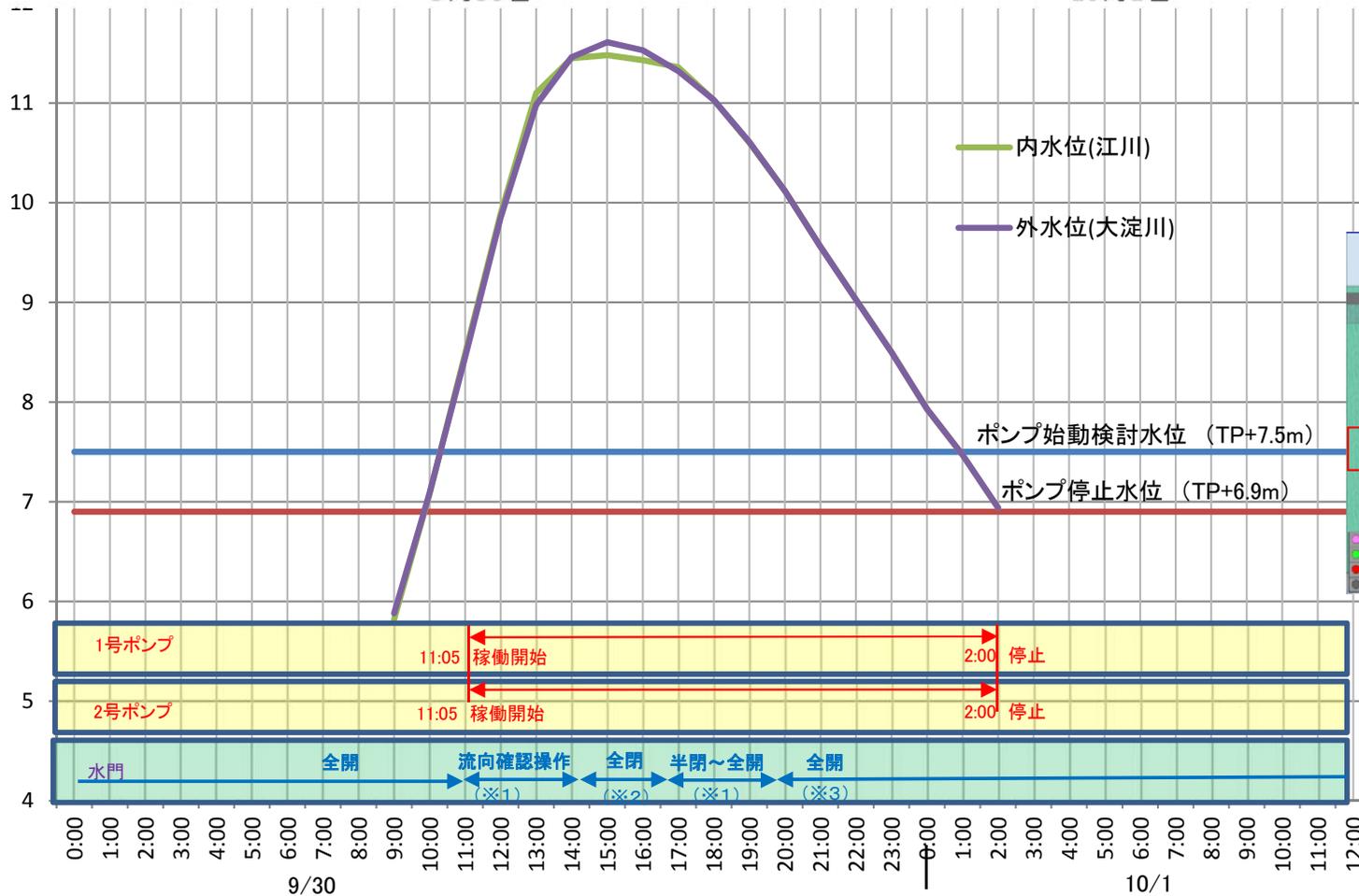
※停止  
瓜生野川からの塵芥の影響により  
除塵機停止のため、運転停止

# 江川排水機場稼働状況(大淀川右岸16K657)

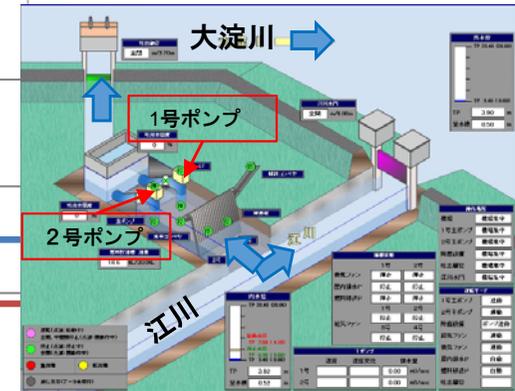
時間  
雨量  
(mm)



- <水門・ポンプの運転>
- ・順流の場合はゲートを開け、逆流してくればゲートを閉める。..... ※1
  - ・水門を閉めている間はポンプを稼働。..... ※2
  - ・内水位が高くなり、順流でも流せるため水門を開けた。..... ※3

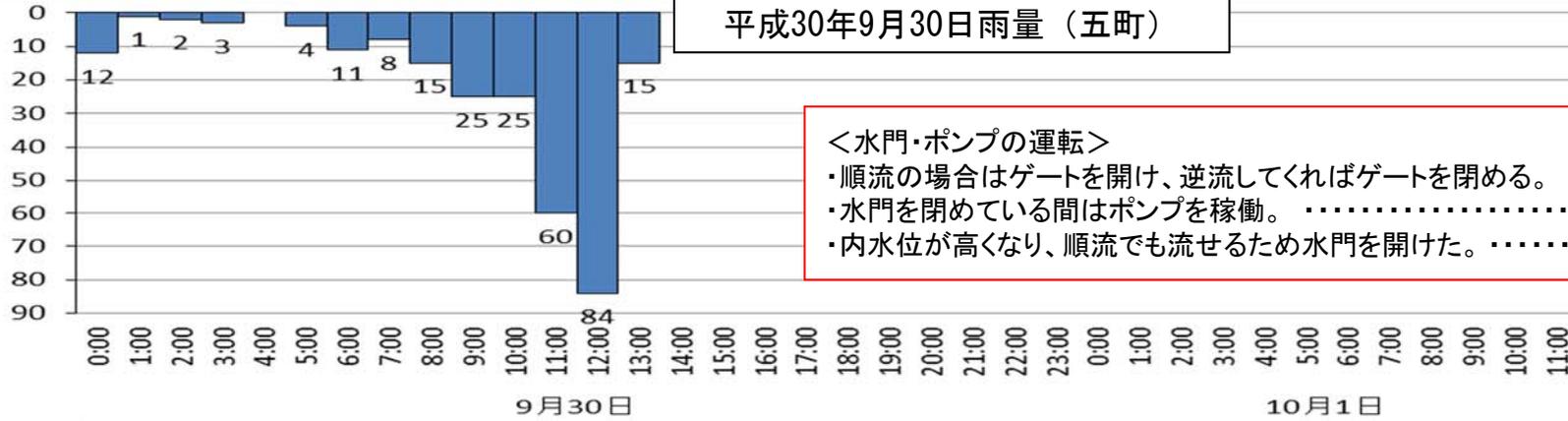


ポンプ排水量  
18m<sup>3</sup>/s  
(9m<sup>3</sup>/s × 2)



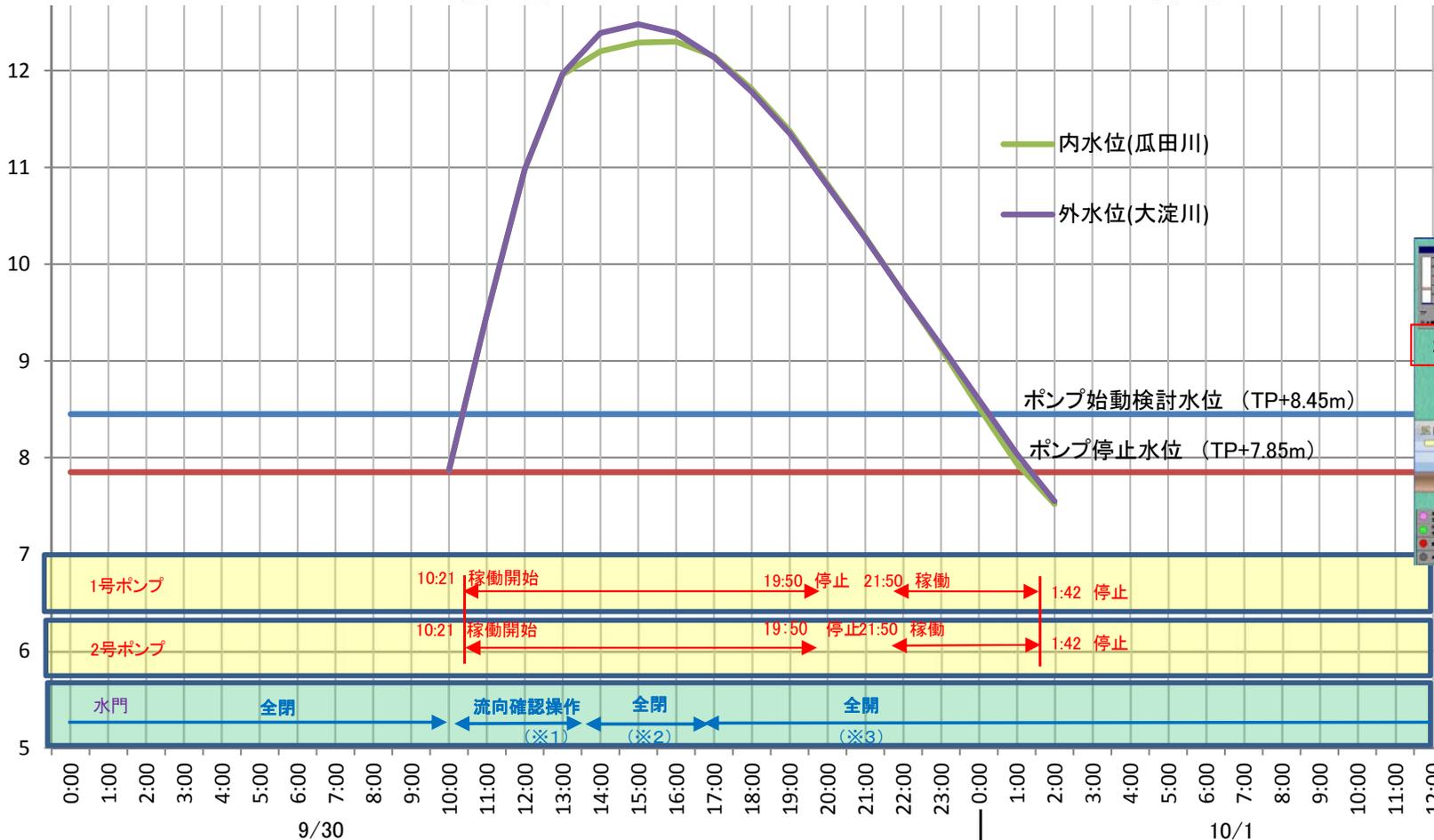
# 瓜田川排水機場稼働状況(大淀川右岸17K700)

時間雨量 (mm)



### <水門・ポンプの運転>

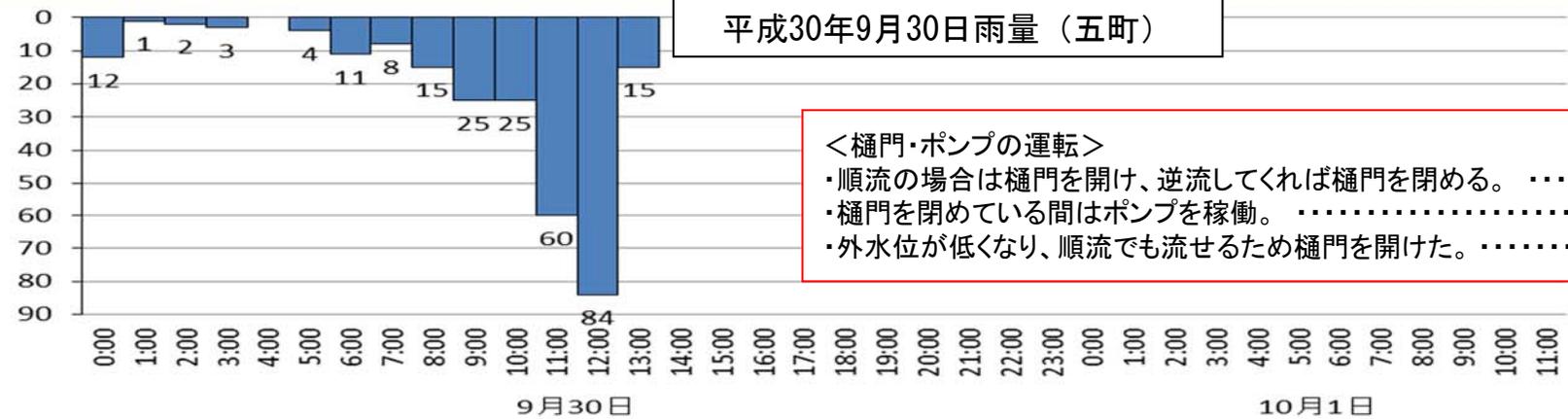
- ・順流の場合はゲートを開け、逆流してくればゲートを閉める。 ..... ※1
- ・水門を閉めている間はポンプを稼働。 ..... ※2
- ・内水位が高くなり、順流でも流せるため水門を開けた。 ..... ※3



# 飯田排水機場 稼働状況

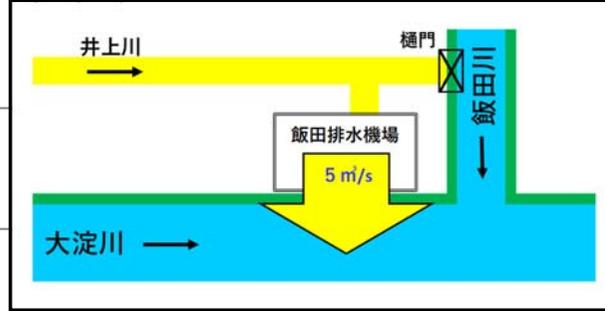
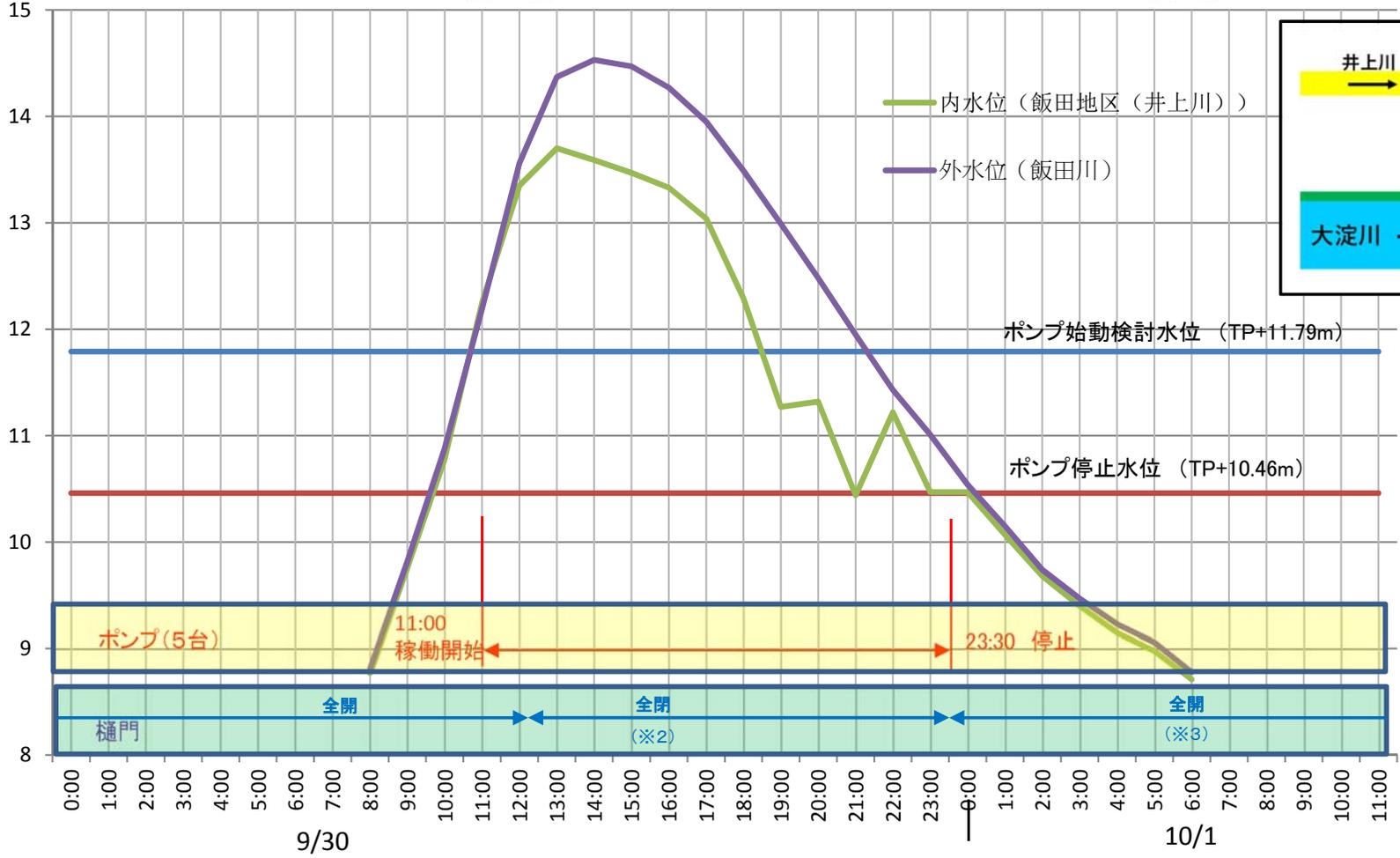
時間雨量 (mm)

平成30年9月30日雨量 (五町)



＜樋門・ポンプの運転＞

- ・順流の場合は樋門を開け、逆流してくれば樋門を閉める。…………… ※1
- ・樋門を閉めている間はポンプを稼働。…………… ※2
- ・外水位が低くなり、順流でも流せるため樋門を開けた。…………… ※3



ポンプ排水量  
5m<sup>3</sup>/s  
(1m<sup>3</sup>/s × 5)

## 瓜田ダム防災操作速報

平成30年9月30日の台風24号の影響による  
一級河川 大淀川水系 瓜田川 瓜田ダム防災操作の効果について

【 瓜田ダム位置図 】



【 ダム防災操作概要 】

台風24号の影響により瓜田ダムの上流域では、9月29日18時より降り始め30日10時までに流域平均雨量の累計が209ミリに達しました。

30日10時20分に流入量が洪水量の40 $\text{m}^3$ /秒に達したため、防災操作を開始しました。

その後、流入量が急激に増加し、30日11時21分に計画高水流量70%の77 $\text{m}^3$ /秒に達しました。

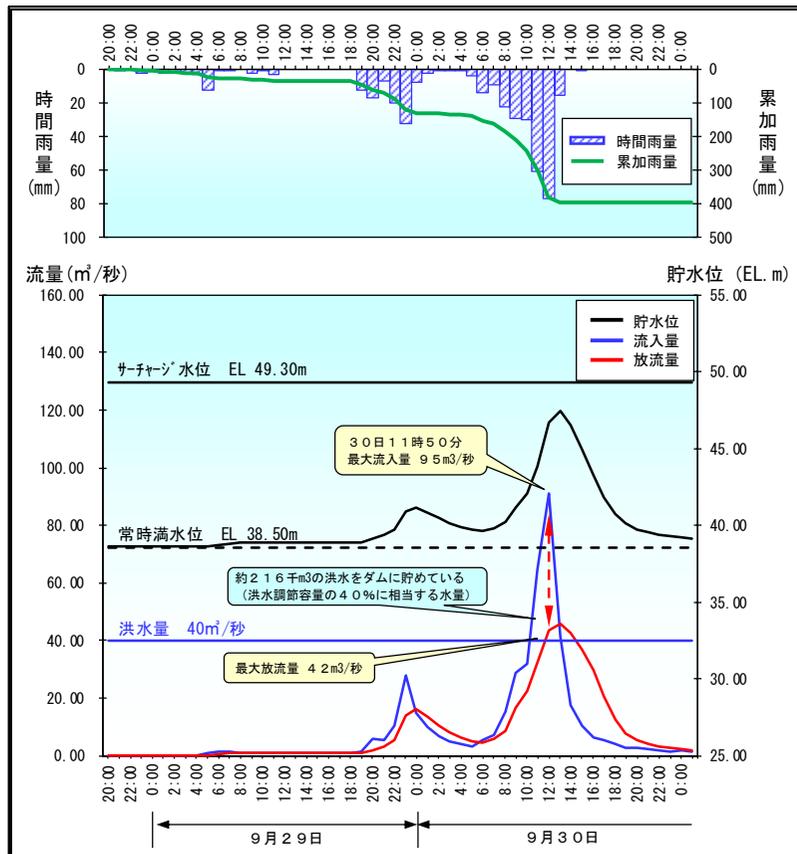
更に降雨が強くなり、12時に最大時間雨量がダム地点で77ミリを観測。

30日11時50分に流入量が最大95 $\text{m}^3$ /秒となり、このときダムにおいて53 $\text{m}^3$ /秒を調節（全体では洪水調節容量の40%にあたる216千 $\text{m}^3$ の洪水をダムに貯留）することで、ダム下流河川への流量を42 $\text{m}^3$ /秒に減らしました。

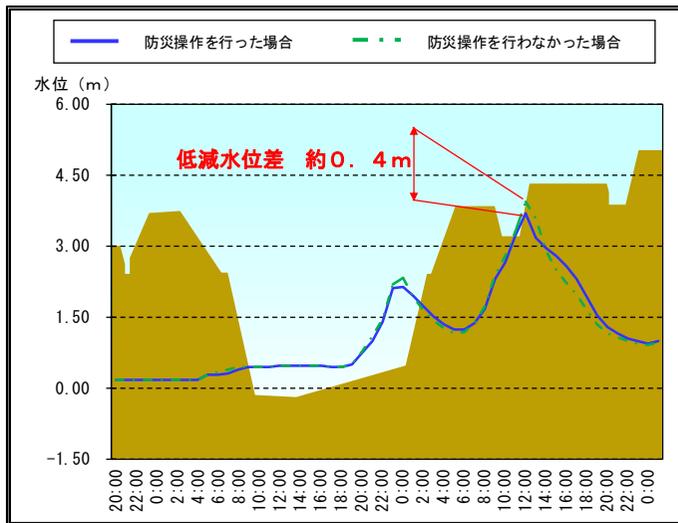
9月30日13時03分には洪水量40 $\text{m}^3$ /秒以下に減少しました。総雨量は、9月29日18時から30日13時までに362ミリを観測。

今回の防災操作により、ダム下流の梅木田橋水位観測局において、河川の最高水位を約0.4m（3.59m→3.16m）に低減させたと推測されます。

【 防災操作実績図（速報値） 】



【 下流防災操作基準地点 梅木田橋水位観測局 河川水位 】



【 瓜田川流域 出水・浸水状況 】

【参考】

- 9月29日17時00分 市内全域 避難準備
- 9月30日12時00分 高岡地区全域 避難指示
- 浸水状況 別添

# 排水ポンプ車稼働状況



瓜田川排水機場



江川排水機場

排水機場名	名称	規格	現地着		稼働開始		稼働終了	
瓜田川排水機場 <small>(八代河川国道事務所より派遣)</small>	排水ポンプ車 21-4912	30m <sup>3</sup> /min	9月30日	22:00	9月30日	23:13	10月1日	8:20
瓜田川排水機場 <small>(八代河川国道事務所より派遣)</small>	排水ポンプ車 22-4911	30m <sup>3</sup> /min	9月30日	22:00	9月30日	23:13	10月1日	8:20
江川排水機場 <small>(川内川河川事務所より派遣)</small>	排水ポンプ車 11-4945	60m <sup>3</sup> /min	9月30日	18:45	9月30日	19:45	10月1日	7:00
江川排水機場 <small>(菊池川河川事務所より派遣)</small>	排水ポンプ車 21-4911	30m <sup>3</sup> /min	9月30日	22:40	9月30日	23:30	10月1日	7:00

# 排水機場稼働回数

瓜生野川排水機場操作回数

1	H26.8.9
2	H28.9.20
3	H29.8.6
4	H29.9.17
5	H30.7.3
6	H30.7.7
7	H30.9.30

合計	7回
----	----

江川排水機場操作回数

1	H26.8.9
2	H28.9.20
3	H30.7.3
4	H30.7.7
5	H30.9.30

合計	5回
----	----

瓜田川排水機場操作回数

1	H24.6.21
2	H24.6.24
3	H26.8.9
4	H28.6.28
5	H28.7.8
6	H28.7.14
7	H28.9.19
8	H29.8.6
9	H30.7.3
10	H30.7.7
11	H30.9.30

合計	11回
----	-----

飯田川排水機場操作回数

1	H28.7.14
2	H28.9.19
3	H30.9.30

合計	3回
----	----

# 平成30年台風24号大淀川の内水被害に関する検討会

## 地元説明会及び区長説明会 意見

台風24号に伴う地元説明会等日程・・・P1

カテゴリー分けについて・・・P2

瓜生野川に関する意見・・・P3

江川に関する意見・・・P4

瓜田川に関する意見・・・P5

飯田川に関する意見・・・P6

## 台風24号に伴う地元説明会等日程

河川名	自治会名	会長説明日時	場所	地元説明会	対応者
瓜田川	麓地区	10月17日 15時～	麓公民館	11月27日 18:30～19:30 宮崎市農業団地センター	国県市
	小山田地区				
江川	上倉自治会	10月18日 19時～	上富吉自治公民館	H31.6開催予定 ※JAの座談会時	国県市
	下倉自治会				
	的野自治会				
	上富吉自治会				
瓜生野川	千代ヶ崎自治会	10月19日 10時～	宮崎市北地域センター	11月9日 19:00～20:00 西部地区農村環境改善センター	国県市
	上野自治会				
	新町自治会				
飯田川	東区	10月19日 19時～	宮崎市高岡総合支所	11月16日 18:30～19:30 宮崎市高岡地区 農村環境改善センター	国県市
	井上地区				
	町区				
	中村地区				
	五区				

※次ページ以降に各地元説明会等での意見を記すが、これらについての今後の対応方針については、下記の  
カテゴリー毎に整理することとする。

**【地元説明会及び区長説明会 意見についてのカテゴリー分け】**

- ①維持管理に関する事項
- ②ソフト対策に関する事項
- ③ハード対策に関する事項
- ④災害後の支援体制に関する事項
- ⑤危機管理に関する事項
- ⑥その他の事項

※〇〇 地-1:地元説明会時意見    〇〇 区-1:区長説明会時意見

地区 及び 番号	意見
瓜生野 地-1	瓜生野川に不法係留船が沢山ある。行政がしっかり指導すべきではないか。
瓜生野 地-2	堤防の草刈り後、刈りっぱなし。集積して欲しい。
瓜生野 地-3	降雨に伴い瓜生野川へゴミが流れてくることを想定した事前対応をお願いしたい。
瓜生野 地-4	瓜生野川には魚も泳げないほど草木が茂っており、対応して欲しい。
瓜生野 地-5	瓜生野川沿川で水が引かなかったのは水門を開けていたからではないか。
瓜生野 地-6	雨が止んでから一気に瓜生野川の水位が上がった。
瓜生野 地-7	降雨に伴い瓜生野川排水機場にゴミが流れてくることを想定した対策をお願いしたい。
瓜生野 地-8	病院やスーパーなど公共性の高い施設の復旧を優先する対応を考えて欲しい。
瓜生野 地-9	災害ゴミの出し方に関する情報を速やかに提供して欲しい。
瓜生野 地-10	北地域センターは避難所となっているが孤島となっていた。
瓜生野 区-1	瓜生野川排水機場について、2台のうち1台のポンプが動かなかった時間があると聞いているが、何が原因なのか。
瓜生野 区-2	瓜生野川排水機場に待機していた職員は操作の仕方を理解していたのか。
瓜生野 区-3	排水機場への職員待機のタイミングを早く出来ないのか。
瓜生野 区-4	排水機場における緊急時の連絡体制をしっかりとすべき。
瓜生野 区-5	瓜生野川に監視モニターを付ければリアルタイムの状況を把握できるのでは無いか。
瓜生野 区-6	どれくらいの雨で、これくらい浸水するといった(降雨強度別の)ハザードマップは無いのか。

※〇〇 地-1:地元説明会時意見    〇〇 区-1:区長説明会時意見

地区 及び 番号	意見
江川 区-1	江川の中に木が育っている。このままだと護岸がやられるのでは。
江川 区-2	大淀川も木が大きくなってきている。
江川 区-3	床下浸水で押さえて欲しい。
江川 区-4	江川排水機場のポンプが動いていなかったのではないか。
江川 区-5	江川排水機場のポンプの増設予定はあるのか。
江川 区-6	国道10号をどうにかしてもらいたい。迂回路(市道)を通る車が危険であるため、冠水時には地元でバリケードを設置したい。

※〇〇 地-1:地元説明会時意見    〇〇 区-1:区長説明会時意見

地区 及び 番号	意見
瓜田 地-1	排水機場や河川の治水施設の管理をもっとしっかり行って欲しい。
瓜田 地-2	ポンプ場までの河道の能力が低くて、ポンプ場まで水が届かず、行き着くまでに水が溢れて、家屋が浸水しているのではないか。
瓜田 地-3	瓜田川排水機場の排水能力のアップをお願いしたい。
瓜田 地-4	瓜田ダムをもっと洪水調節できる施設に出来ないか。
瓜田 地-5	麓川の水位が測られておらず、番所橋の観測所の水位だけでは現状は分からない。観測体制の整備をお願いする。
瓜田 地-6	床上浸水し、水に浸かった畳をなかなか取りに来てくれなかった。
瓜田 地-7	水害後は速やかに消毒に来て欲しい。
瓜田 地-8	避難所はもう終わりと言われ出された。避難所の期間はもう少し期間があっても良かった。
瓜田 地-9	ため池があれば雨が降る前に水を抜いて貯める等様々な検討もして頂きたい。
瓜田 地-10	浸水状況を広報する広報車や消防も来なかった。
瓜田 地-11	水が上がるところにどうして建築許可が下りるのか。
瓜田 区-1	ポンプが稼働していなかったのではないか。
瓜田 区-2	下流の市街地を守るために高岡(瓜田川排水機場)のポンプを止めたのではないか。
瓜田 区-3	浸水が早く避難も間に合わなかった。

※〇〇 地-1:地元説明会時意見    〇〇 区-1:区長説明会時意見

地区 及び 番号	意見
飯田 地-1	土砂撤去は今年だけでは無く継続して実施して欲しい。
飯田 地-2	昔は大淀川の中に貯まった土砂は砂利採取業者が撤去していた。現在では土砂が堆積し樹木も繁茂している様に見える。
飯田 地-3	なぜ、雨が止んでから飯田川の水位が上がったのか。
飯田 地-4	飯田川排水機場のポンプの稼働に関する情報がない。
飯田 地-5	施設操作が適切に出来るようしっかり対応して頂きたい。
飯田 地-6	飯田川ポンプの増設など長い目で見た今後の検討をお願いしたい。
飯田 地-7	ゴミ処理対応など高岡総合支所が主体的に判断し指示できる体制を作って欲しい。
飯田 地-8	浸水に伴い泥だらけになった道路清掃は宮崎市がしてくれなかった。
飯田 地-9	なぜ、一部区間の側溝だけ清掃したのか。他の区間も対応して欲しい。
飯田 地-10	防火水槽の水を道路清掃に利用することは出来ないのか。
飯田 地-11	排水機場地点で水位を1m程度下げたと説明があったが、高岡のメイン通りの側溝はほとんど流れが無かった。
飯田 地-12	どこがどんな状況になっているのかの情報もなく分からない。窓口を設置するなど、きめ細やかな情報の提供をお願いしたい。
飯田 地-13	今回の浸水で浄水場が使えなくなったという情報やゴミ廃棄に関する情報の提供が遅すぎる。
飯田 地-14	排水機場横の分譲地に家を建てようと思い、役所に浸水するか否か問い合わせたところ“水位は上がらない”と説明されたが危険な区域であれば周知をお願いする。
飯田 区-1	飯田川排水機場より上流の大淀川の樋管は操作が遅れたのではないか。
飯田 区-2	飯田川排水機場のポンプも動いていなかったという人もいた。
飯田 区-3	水害後のゴミ処理方法の指示が遅い。
飯田 区-4	災害後の対応マニュアルがあるべき
飯田 区-5	浸水が早く避難も間に合わなかった。
飯田 区-6	道路冠水情報は国県市で共有できているのか。
飯田 区-7	避難所前の道路付近まで冠水している状況であったが、避難所の指定を変更しなくても良いのか。
飯田 区-8	道路に溜まった泥等の処理も対応が遅い。
飯田 区-9	市の電話対応に不満を感じる。